

へうげモノ Young Mono YOSHIIHIRO YAMADA



YOSHIIHIRO YAMADA
Young Mono
YOSHIIHIRO YAMADA

へうげモノ
Young Mono
YOSHIIHIRO YAMADA

YOSHIIHIRO YAMADA
Young Mono
YOSHIIHIRO YAMADA

雑誌 42673-28
ISBN978-4-06-387128-9
C9979 ¥543E (0)

モーニングKC 講談社
定価：本体543円(税別)

ムカシ、チャンユトヨドンニ、イッダマシユオッタラエタセンゴツノサムライタイショウウデ、
フルタオリベチュヒトガオイヤシタ。オリベドンハ、ウンマレナガラビンタンヨカッタオダンノブナガサカラ、
ワッセエフトカウンラエタウゼケンヲユッカセラレ、チャノカンサジシタセンリキュウドンカラハ、
ワッセエカフケコロンサガユッカセラレヤシテ、「ヘウゲモン」ヘノミチユッパシヤシタ。
センゴノコウシエンデキメタカイノ「セキガハラ」ガ、マッナゲタガブレイボールデゴワス。
コイマデミタコノナカツクルボーラーチュオリベノ、クワキヲネコソギコサッダスナガワザガハジケヤッタ。
「ワビ」ヘノメヅツモイツソコゴワシタ、サンネンナコチ、イシダンミツナリドンハ、ケイパンシズキナイヤシテ、
キエッシモワレモシタ、イキッカケシシカ、サムライカチャノミシカ。
ソイガホンコテマスマスキガトオナオオゴトデゴワス!!

茶の湯と物欲に魂を奪われた戦国武将・古田織部。
天才・信長から壮大な世界性を。
茶聖・千利休から深遠な精神性を学び。
「へうげもの」への道をひた走る。
戦国甲子園決勝戦「関ヶ原」ついにブレイボール。
稀代のナックルボーラー、ORIBEの真空投法作製。
「わび」への目覚めも束の間、三成は刑場の露と消ゆ。
生か死か、武か歎奇か、それがますます悶絶大問題だ!!



YOSHIIHIRO YAMADA
Young Mono
YOSHIIHIRO YAMADA



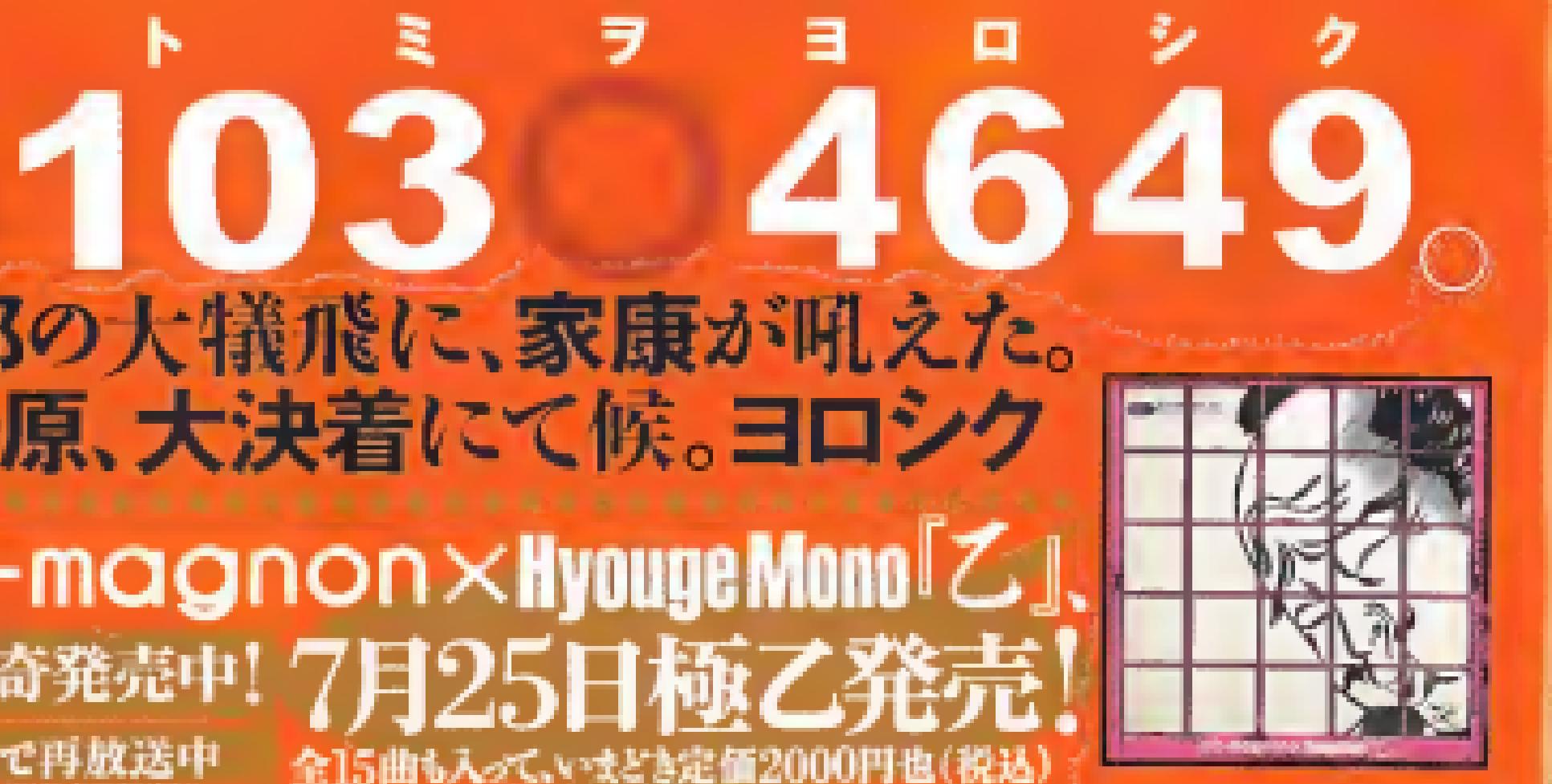
古田織部と石田三成はどちらも春星禅師に師事していたので、墓は同じ寺にあり、昔は並んで置かれていたようですこの二人がつむるような史料や逸話はほとんどありやせんが、嗜好が違うであろううるう達がいかがうな接し方をしていたのかを想うと、感慨深いすねえ

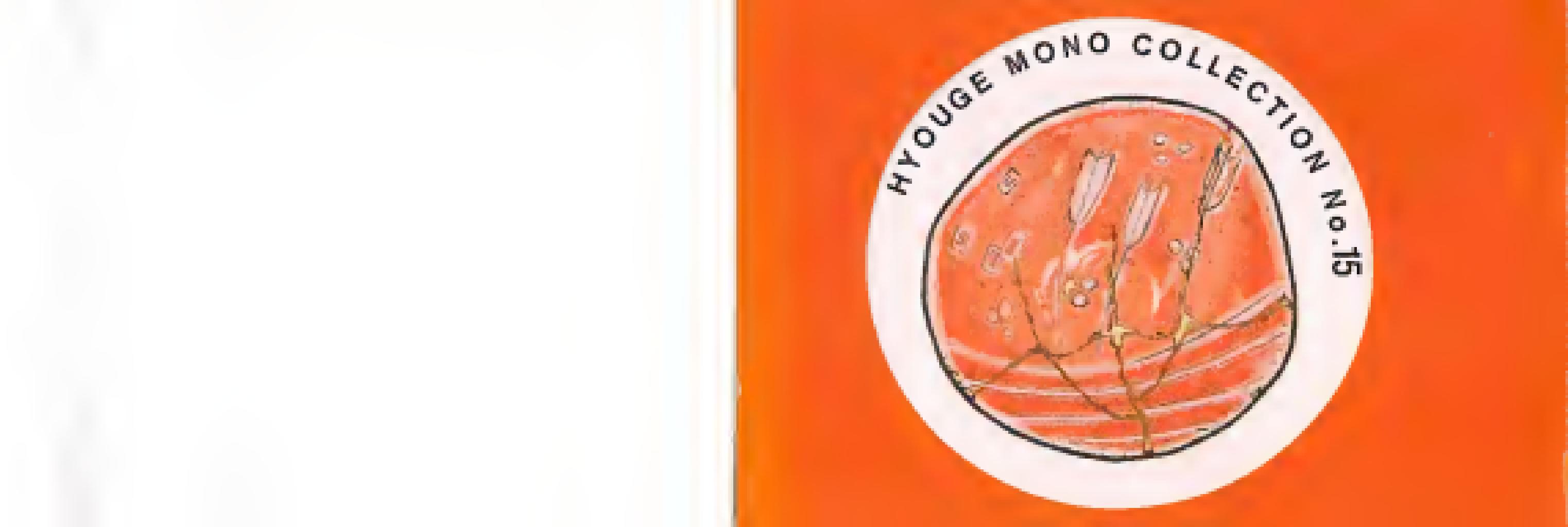
山田芳裕





トヨトミ ラヨロシク
山田芳裕
講談社





Orube Furuta
Satarou Ueda
Nagayasu Ohkubo
Mitsunari Ishida
Ieyasu Tokugawa

へうげモノ

TEA FOR UNIVERSE, TEA FOR LIFE.

KODANSHA



Hyouge Mono

15. 月曜 山田芳裕
YOSHIHIRO YAMADA

ムカシ、チャンユトヨッドンニ、イッダマシュオットラレタセンコツノサムライタイシヨウテ、
フルタオリベチュウヒトガオイヤシタ。オリベドンハ、ウンマレナカラビンタシヨカツオダンノフナカサアカラ、
ワッセエフトカウンヲコエタウゼケンヲユッカセラレ、チャノカンサアジャンタセンノリキュウドンカラハ、
ワッセエカフケコロンサガヲユッカセラレヤシテ、「へうげモノ」ヘノミチユヒッバレイヤシタ。
センゴッコウシエンデキメンタタカイノ「セキガハラ」ガ、マッナゲタガノレイボーレデコワス。
コイマデミタコンノナカナックルホーラーチュウオリヘノ、クウキヲネコノテコサックスナケワザカハジケヤッタ。
「ワビ」ヘノメヅツモイツツノコッゴワシタ、サンネンナコチ、イシダンミツナリドンハ、ケイバンシスキナイヤシテ、
キエッシモワレモシタ。イキッカケシンカ、サムライカチャノミッカ、
ソイガホンノコテマスマスキガトオナイヨナオオコトデコワス!!

1960年9月14日昼

美濃国・赤坂
(岐阜県大垣市)

この黒田……

小早川秀秋より
しかと人質を
受け取りました

脇高和士欣求

秀

戦後の厚遇も
重ねて伝えて
おりますれば……

小早川勢が
石田方に付く事は
ありません

吉川広家からも

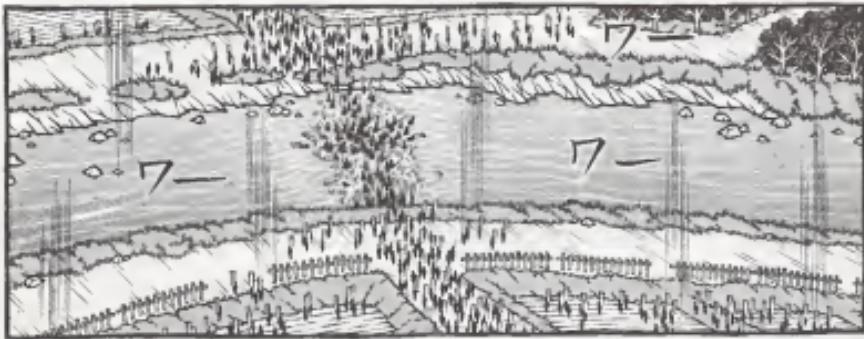
毛利勢の不戦を
約束せし誓書と
人質がまもなく

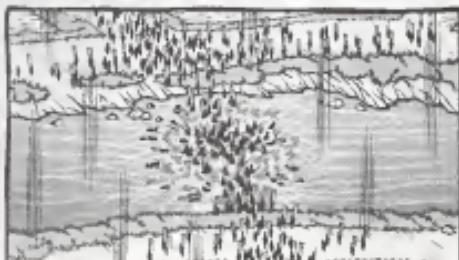


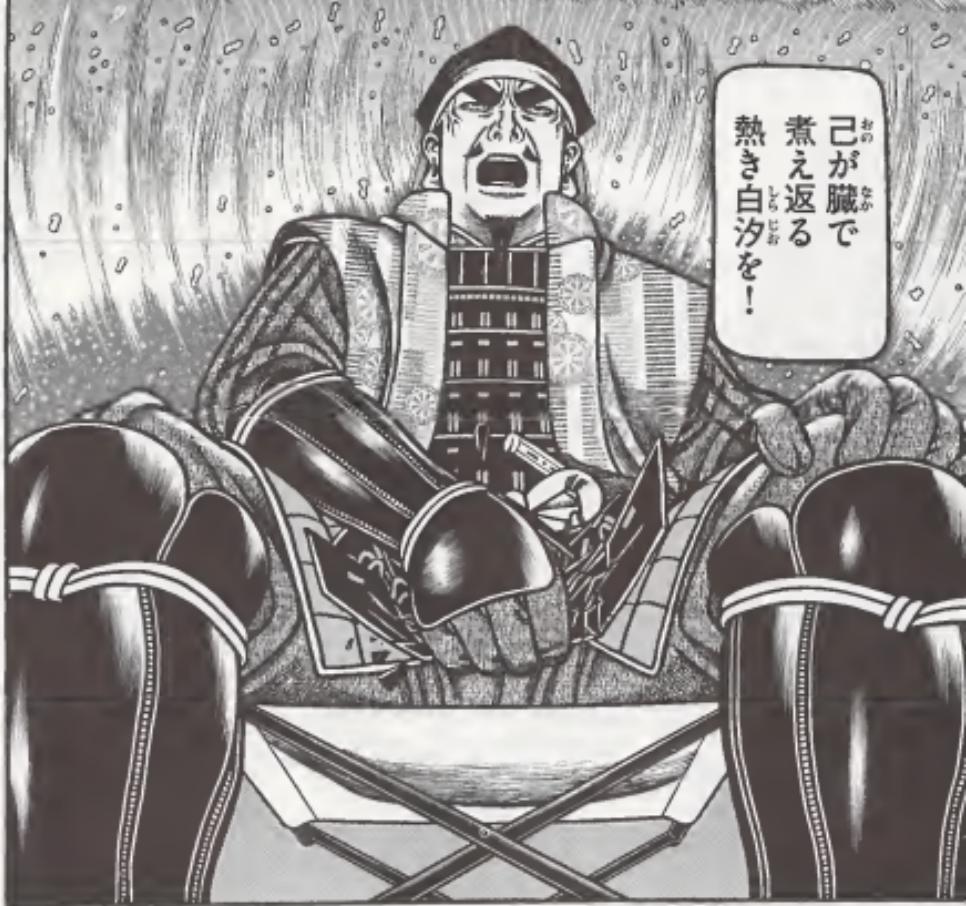
第百五十四席

September Rain









同刻
豊後国
黒田如水本陣(大分県杵築市)
実相寺山

申し上げます
殿!!



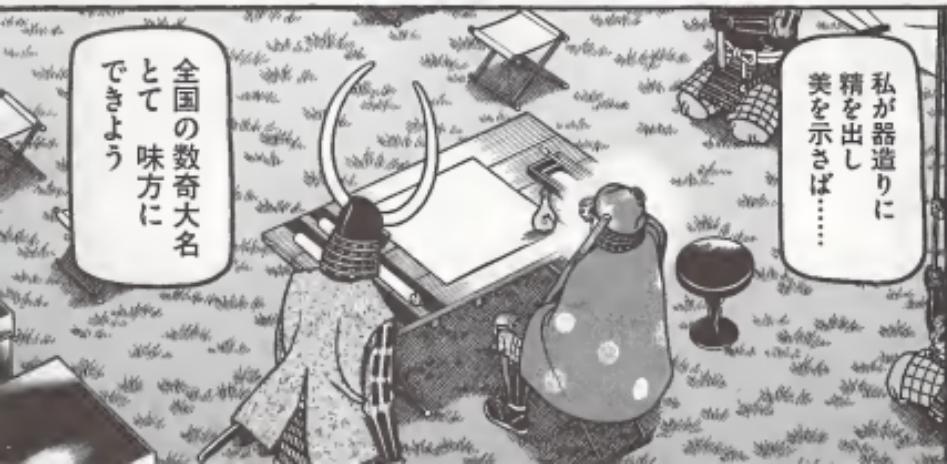
うむ



明日にでも剃髪し
投降するとの事!





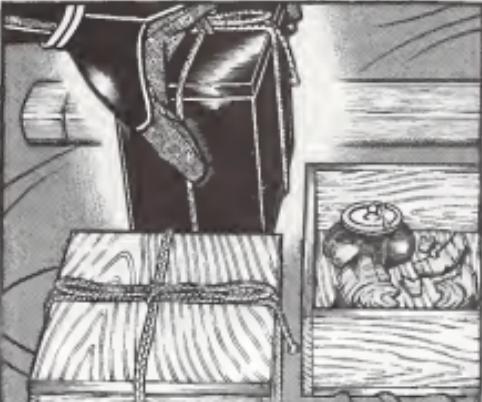
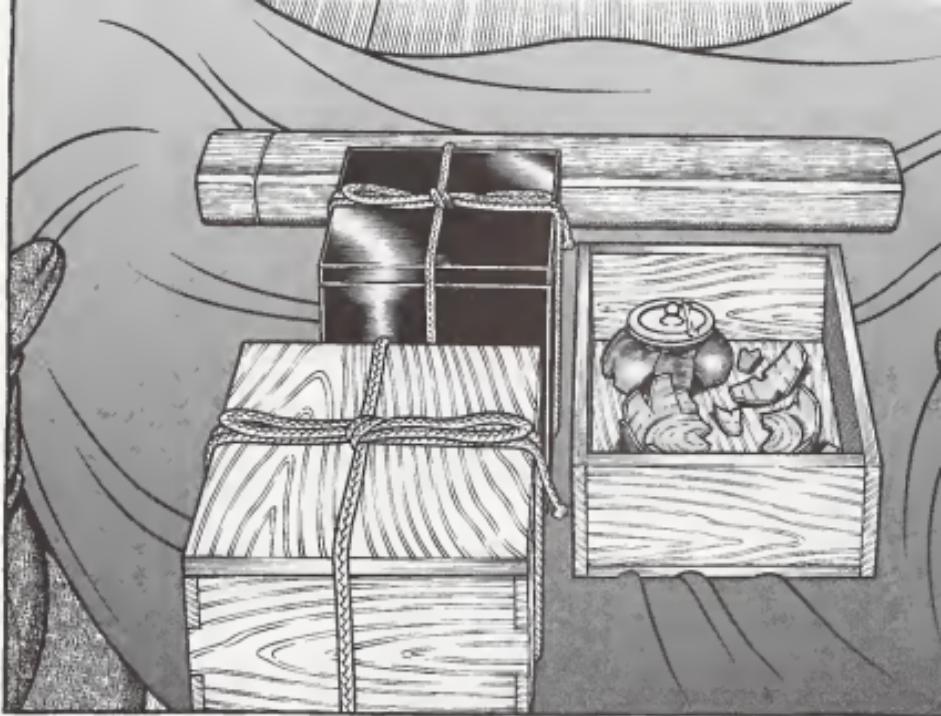




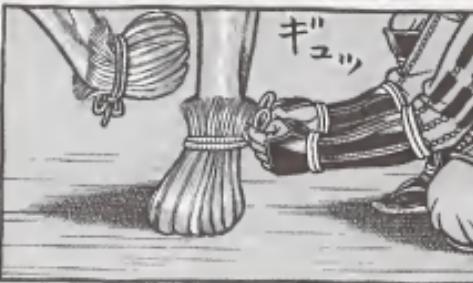
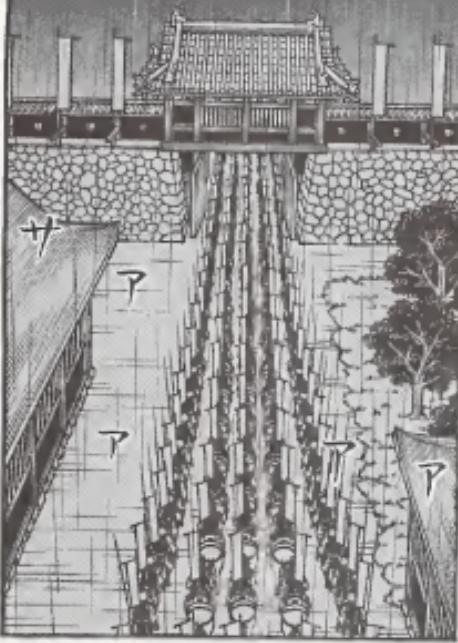




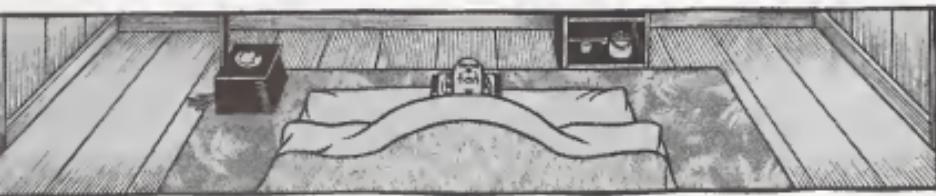




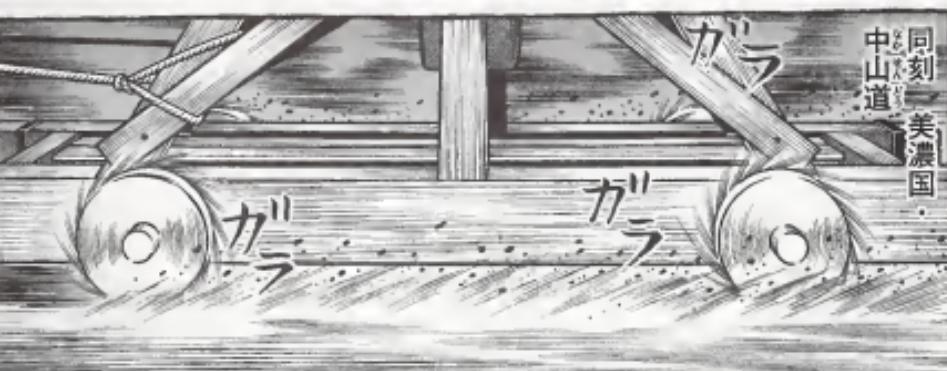


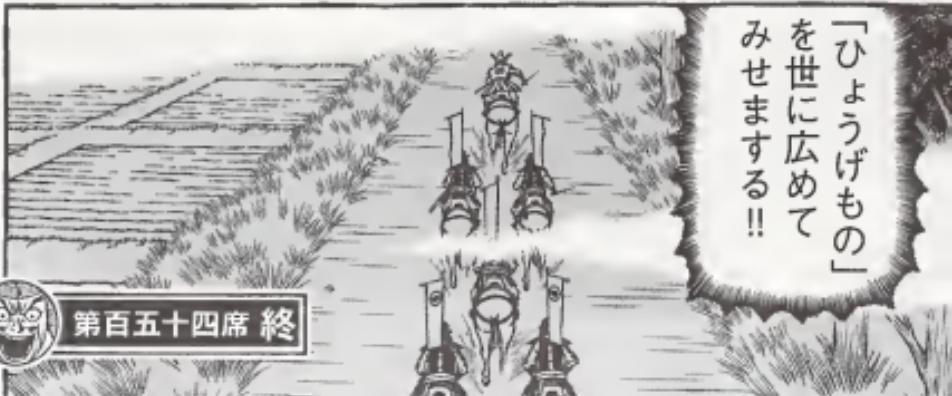


同月15日午前2時
美濃国・赤坂



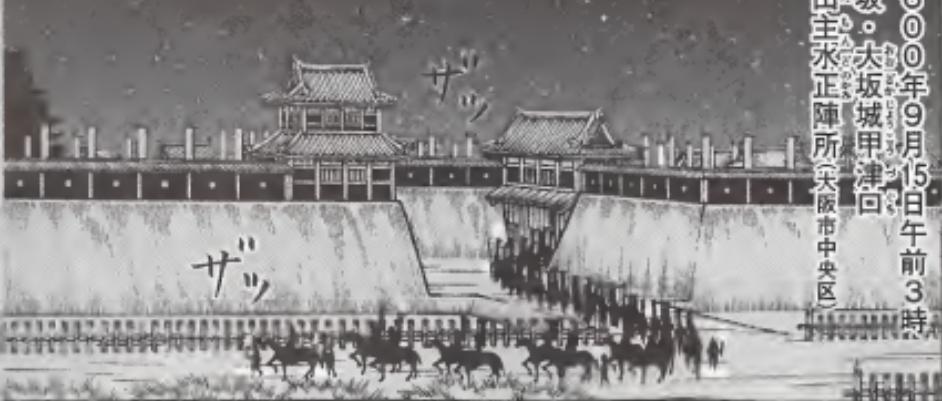






1600年9月15日午前3時

大坂・大坂城甲津口
上田主水正陣所(大阪市中央区)



数奇者として
まだまだ青いわ

ここに残る
決断をした
その方々の事は
恨まぬ

第一百五十五席

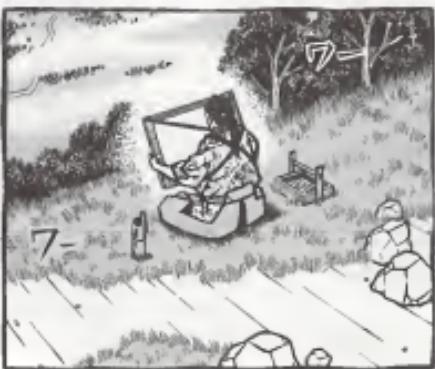
横綱トリッパー





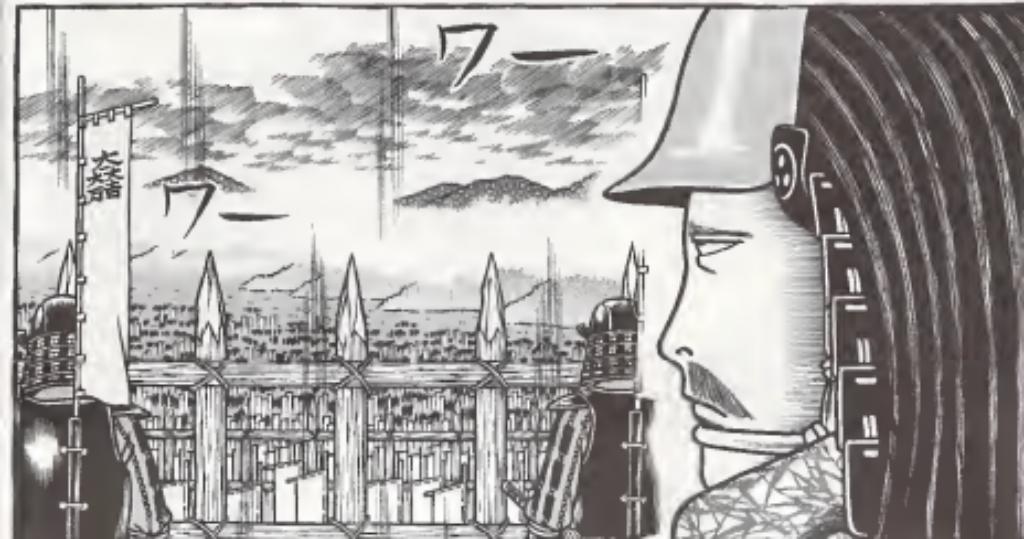
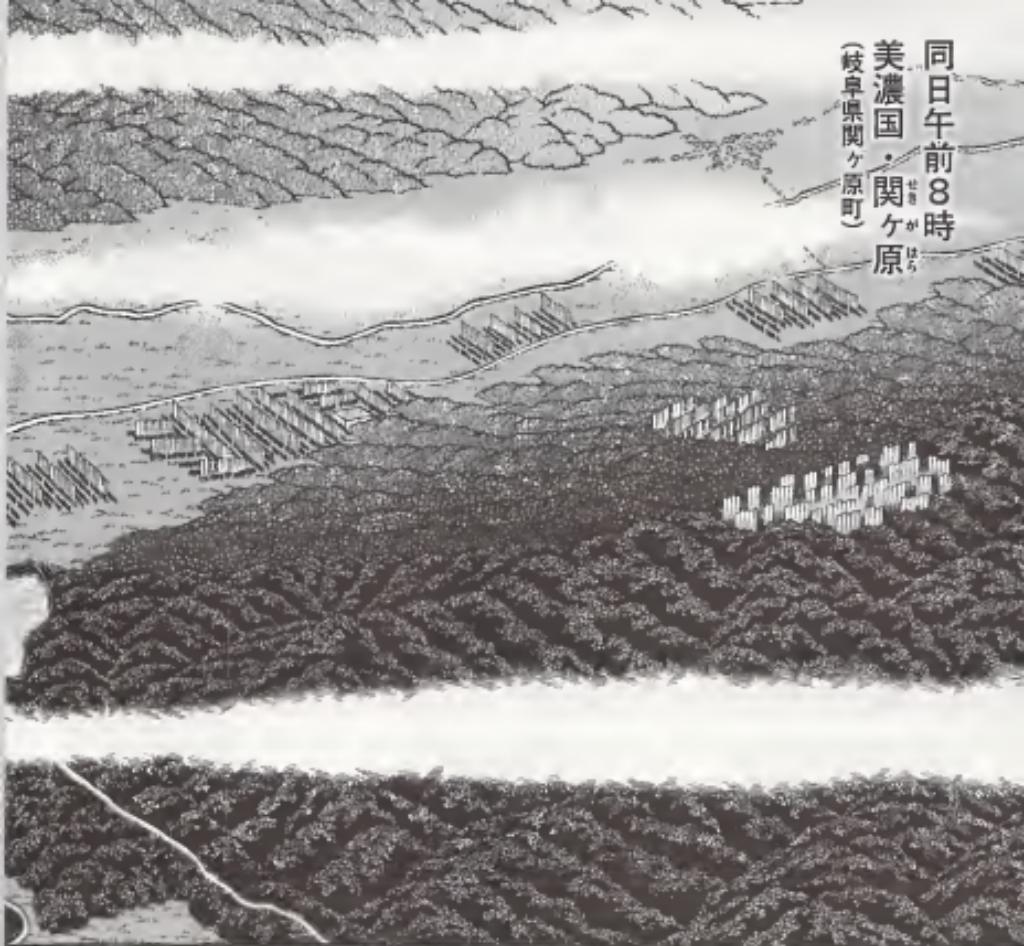


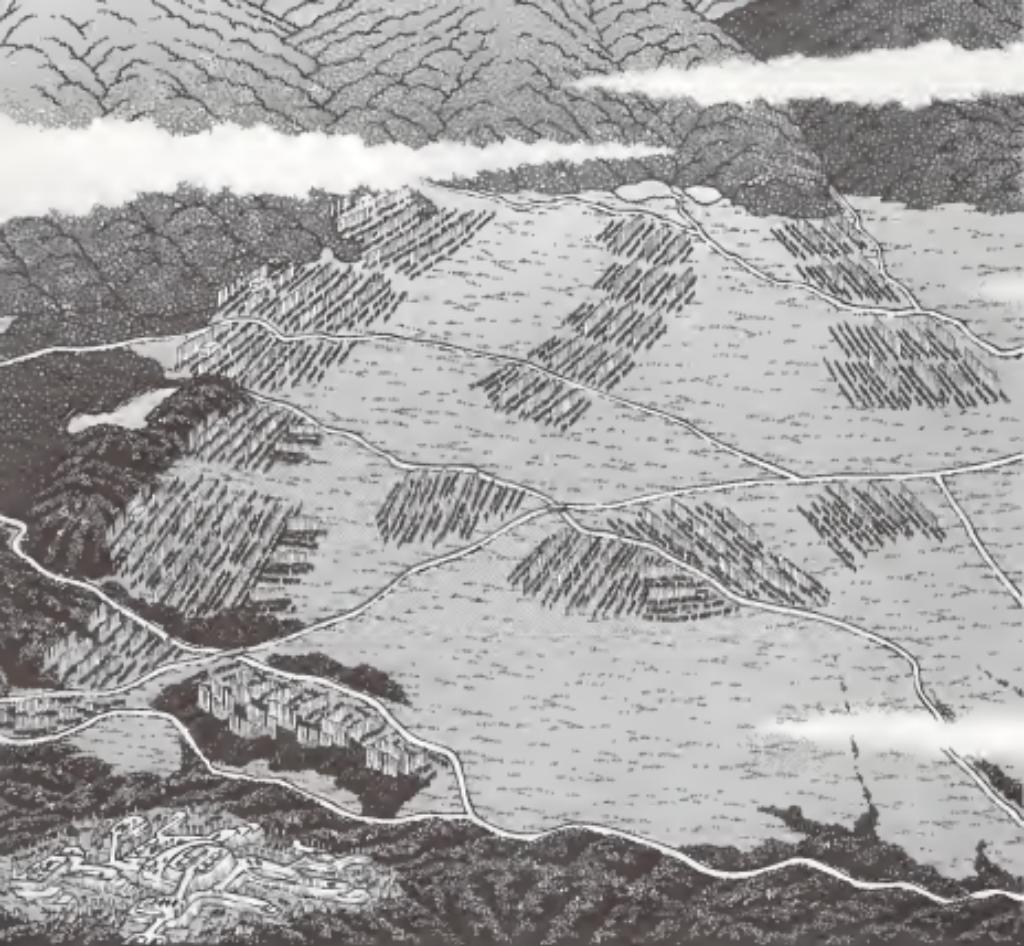


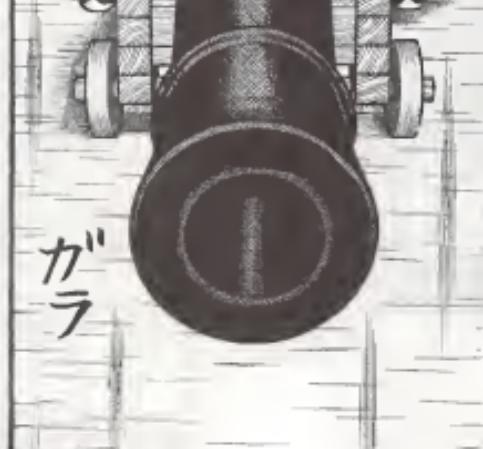


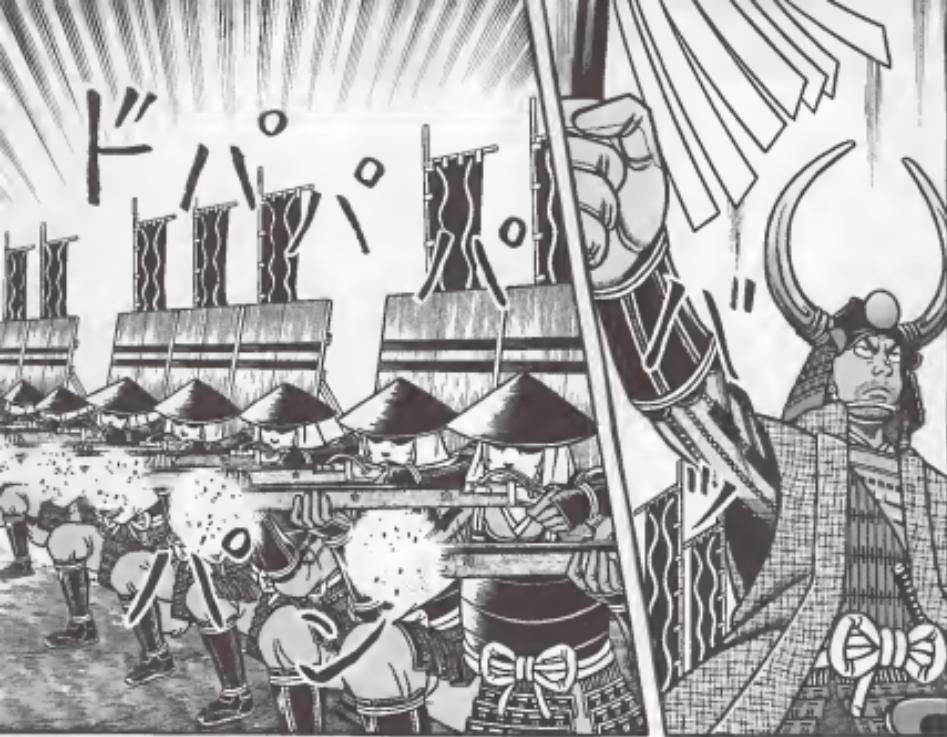
同日午前8時

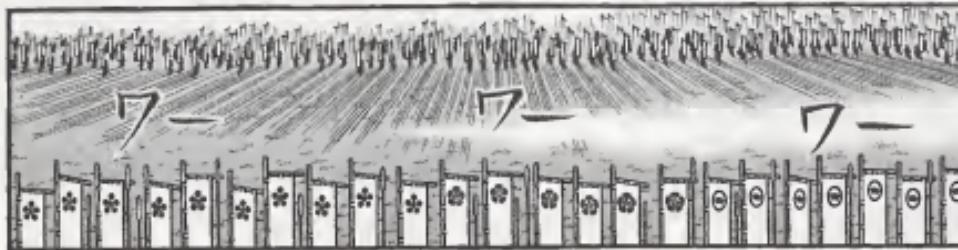
美濃国・
(岐阜県関ヶ原町)
関ヶ原











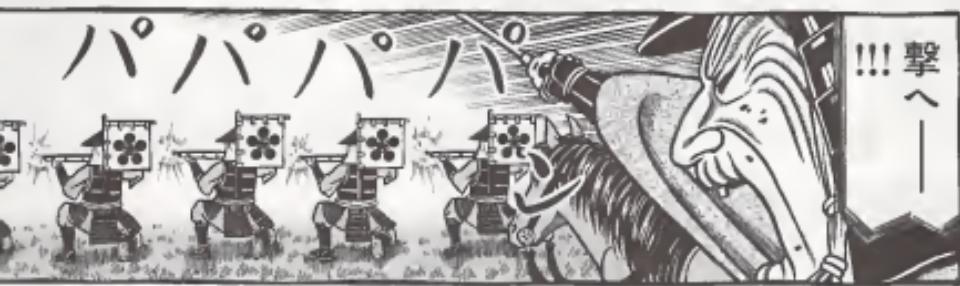
今一
刻様子見を
金森爺……

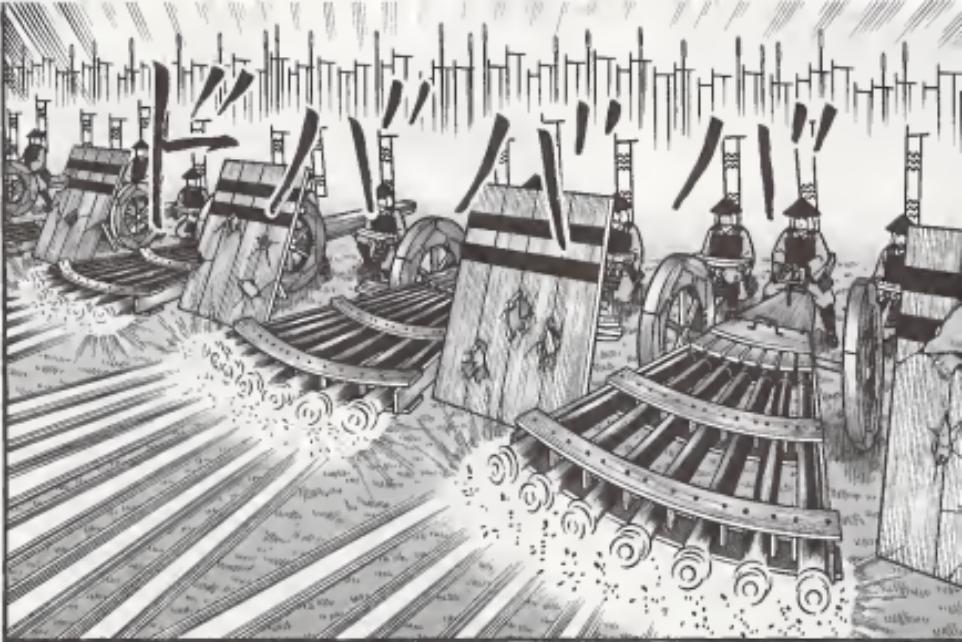
まだ古織も來て
おらぬゆえ……

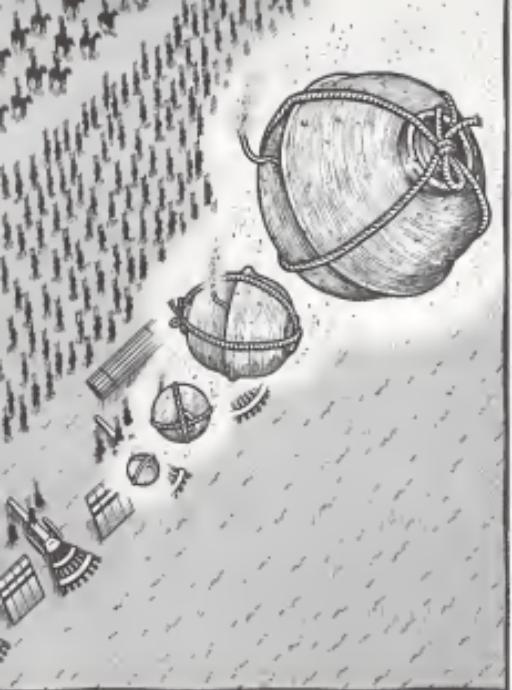
前が開
きまひ
たぞ有
楽殿!

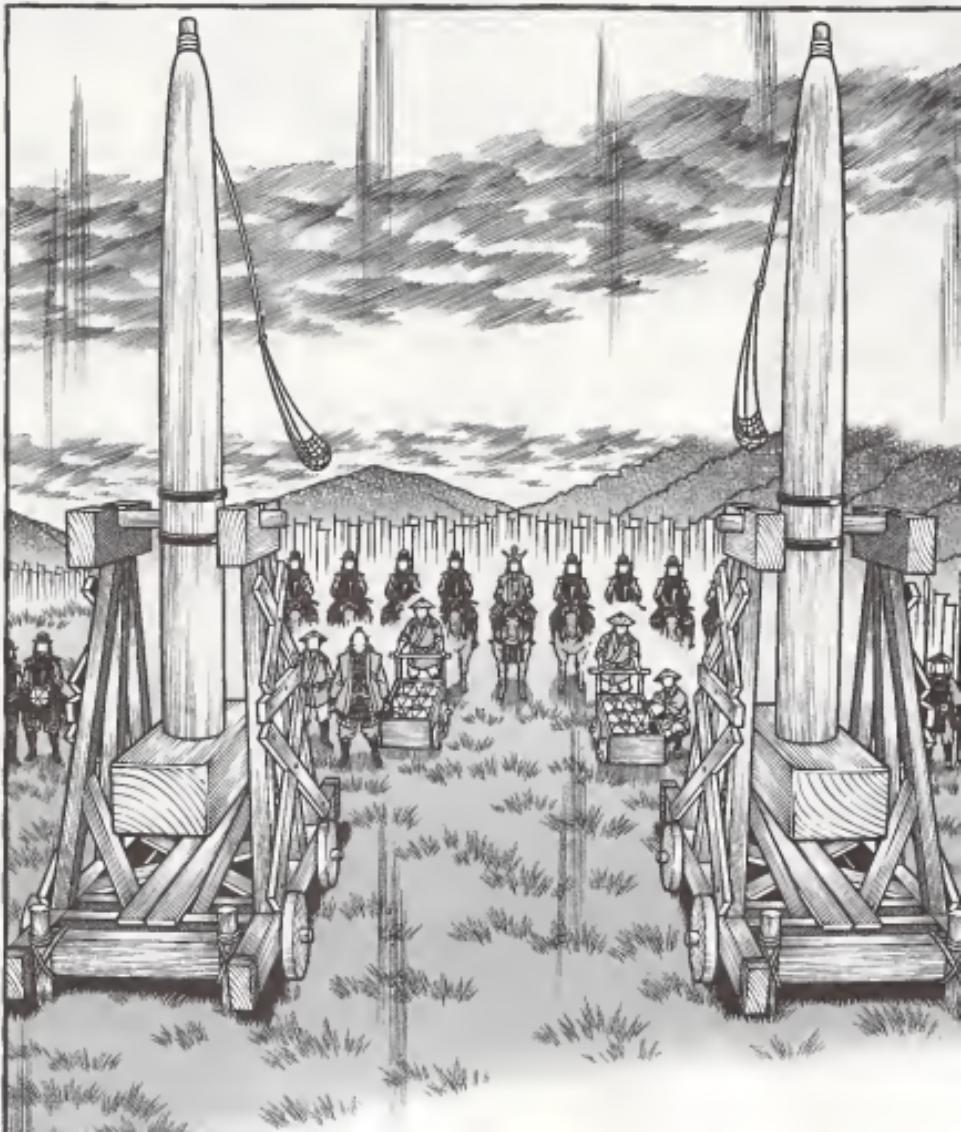
我ら寄
合勢も
突撃ひ
えねば!!

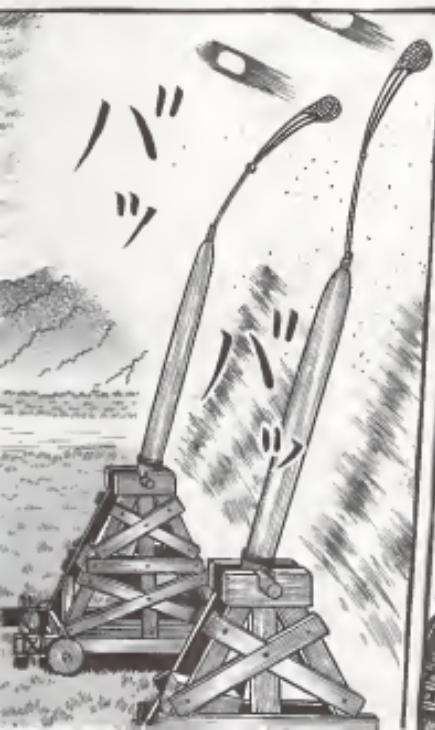




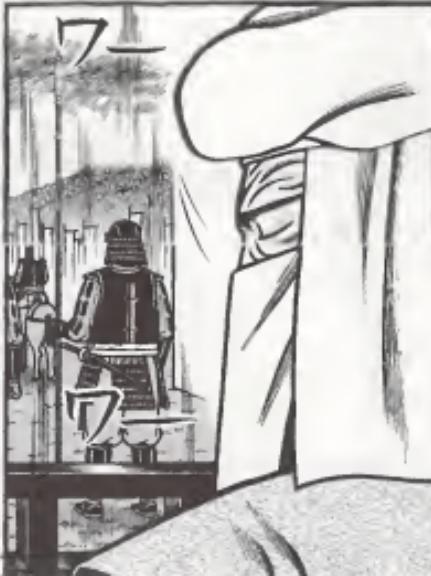








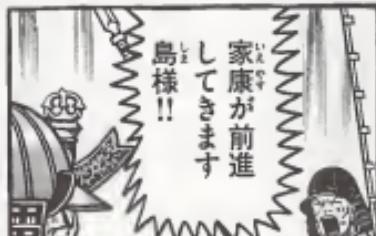
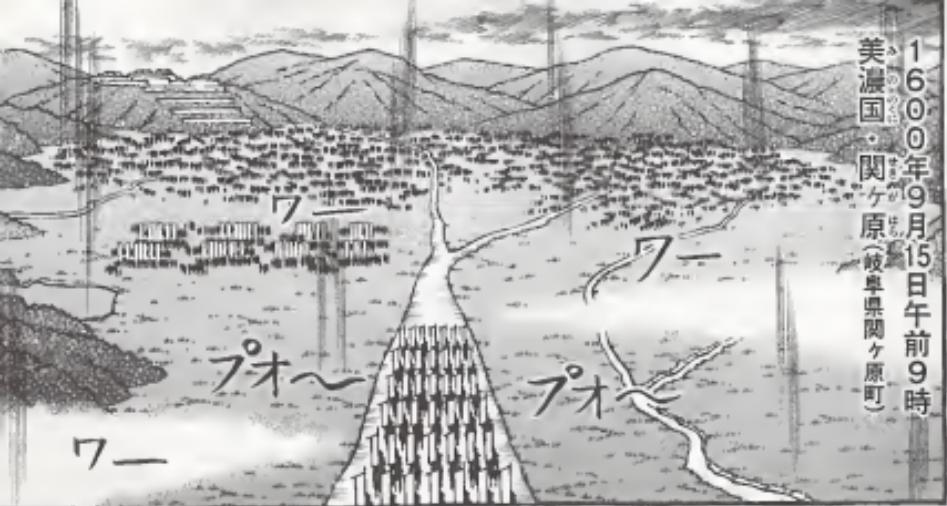


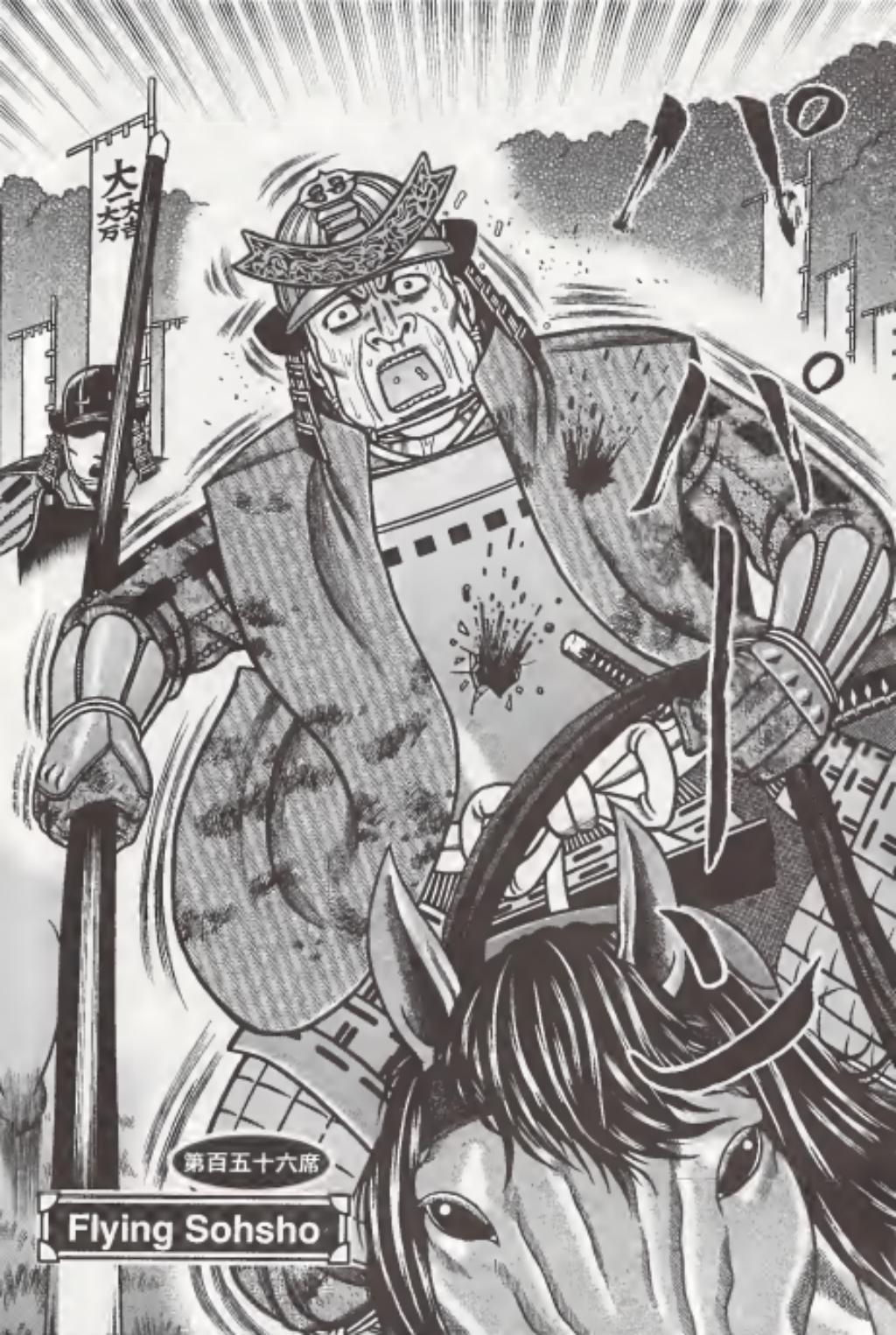




1600年9月15日午前9時

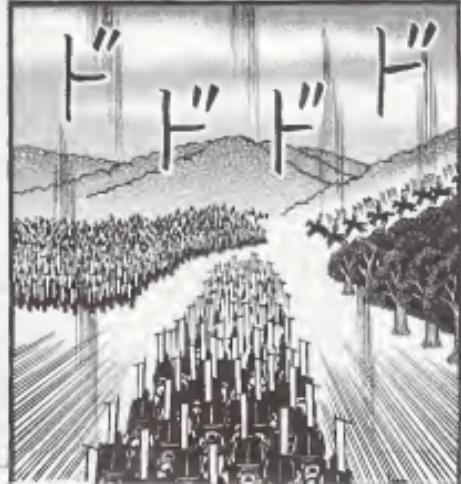
美濃国・関ヶ原(岐阜県関ヶ原町)



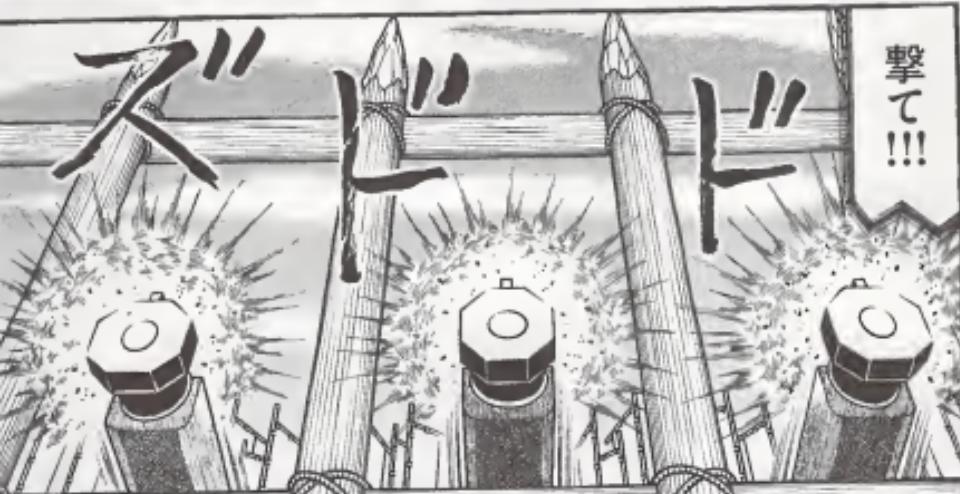
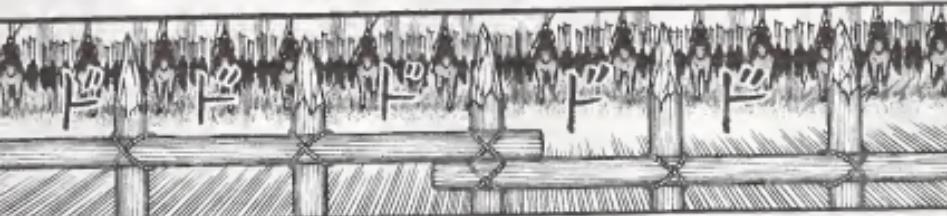
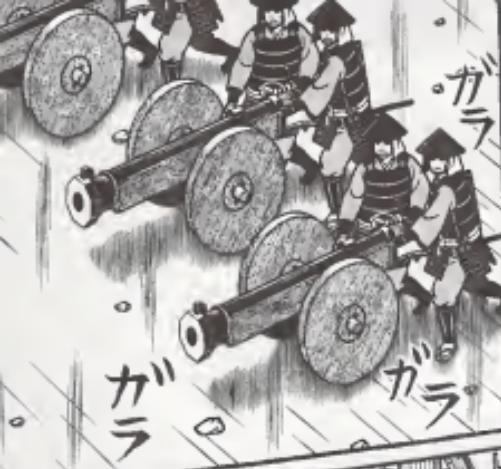


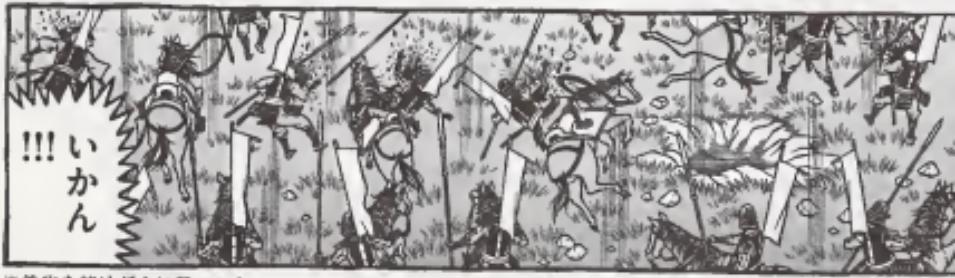
第百五十六席

Flying Sohsho



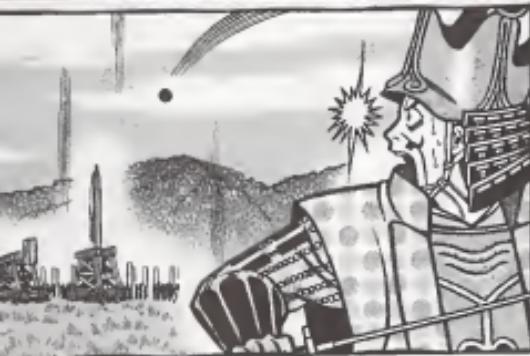
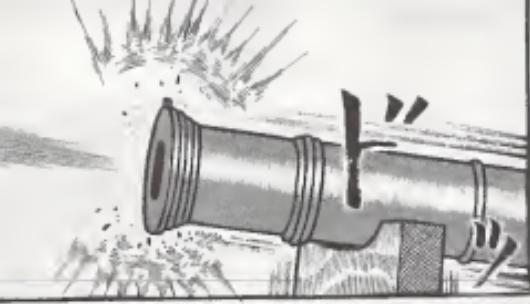






は鉄砲を統ぎざまに撃つこと

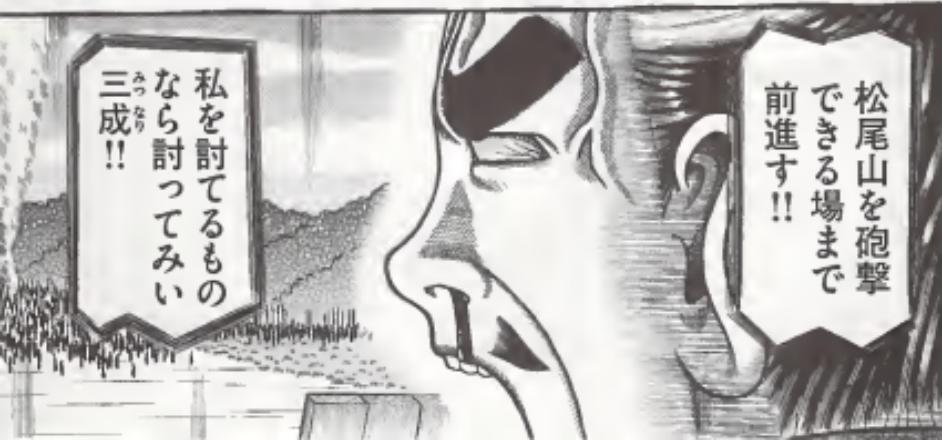


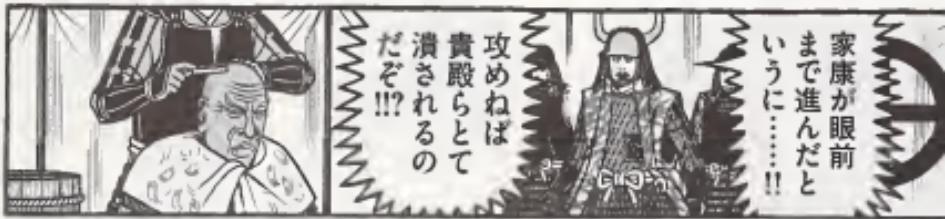
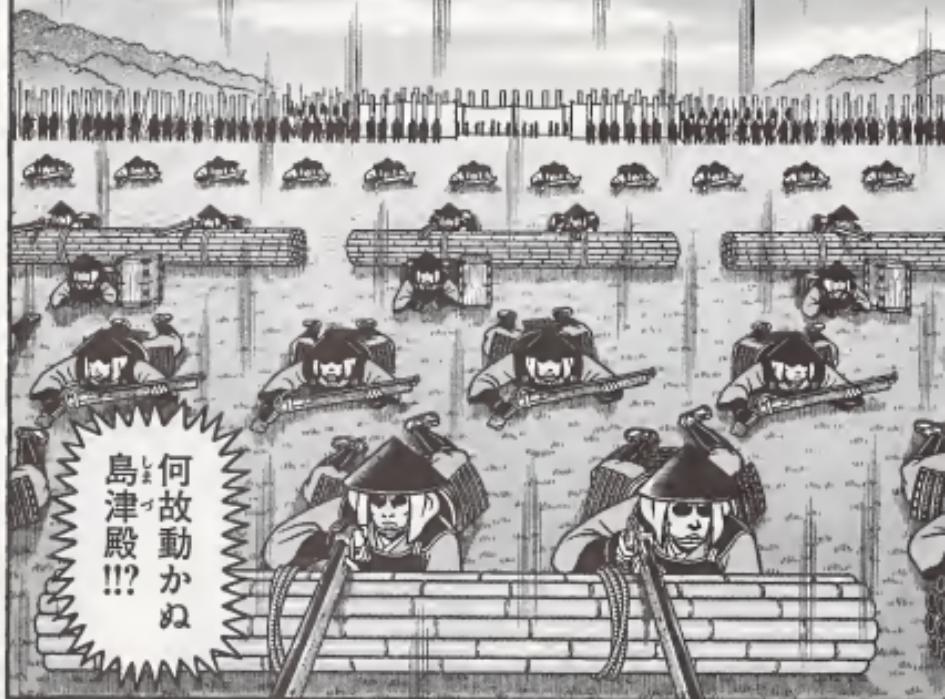






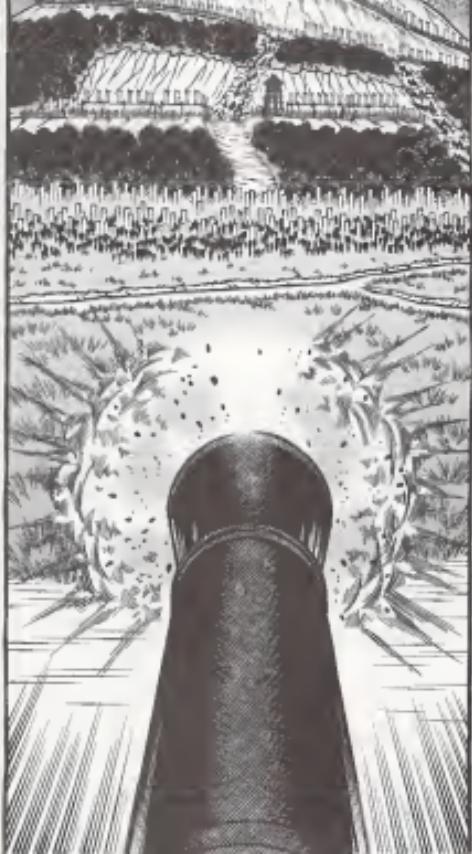
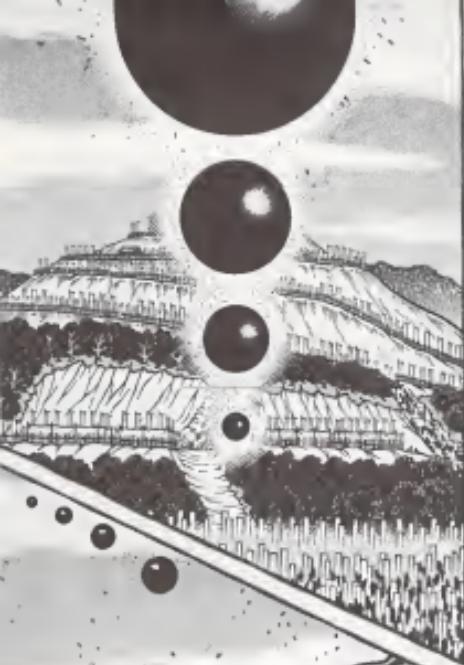






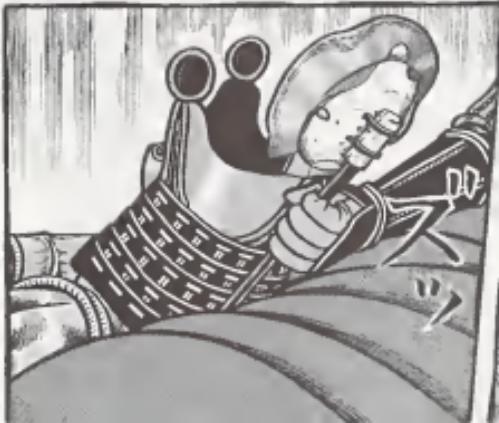
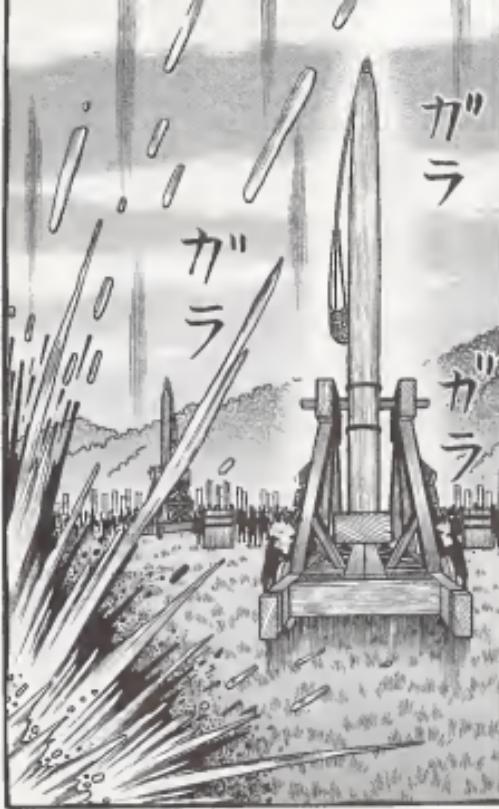










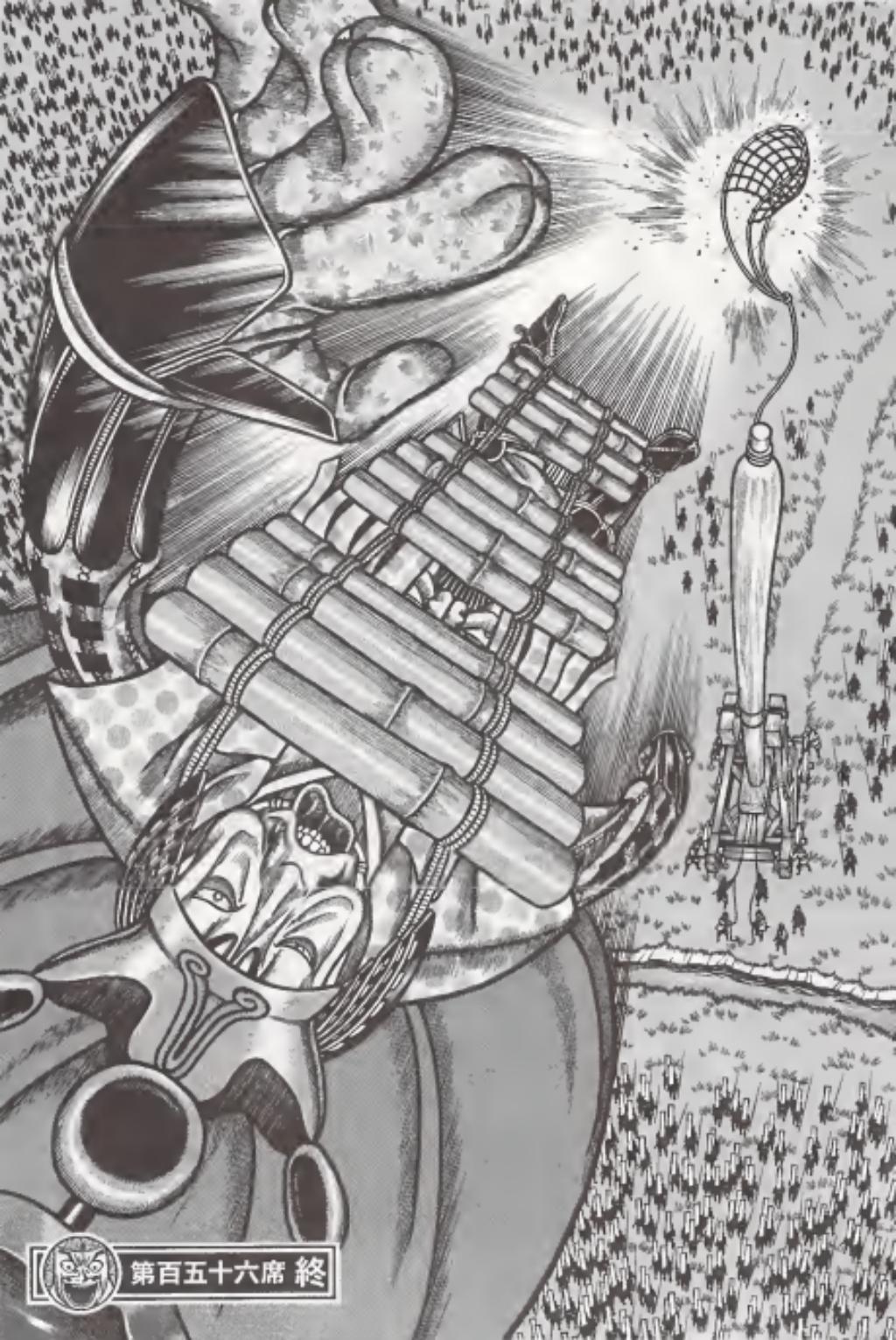


得意の
ひょうげ殺法で
見事口説いて來い！

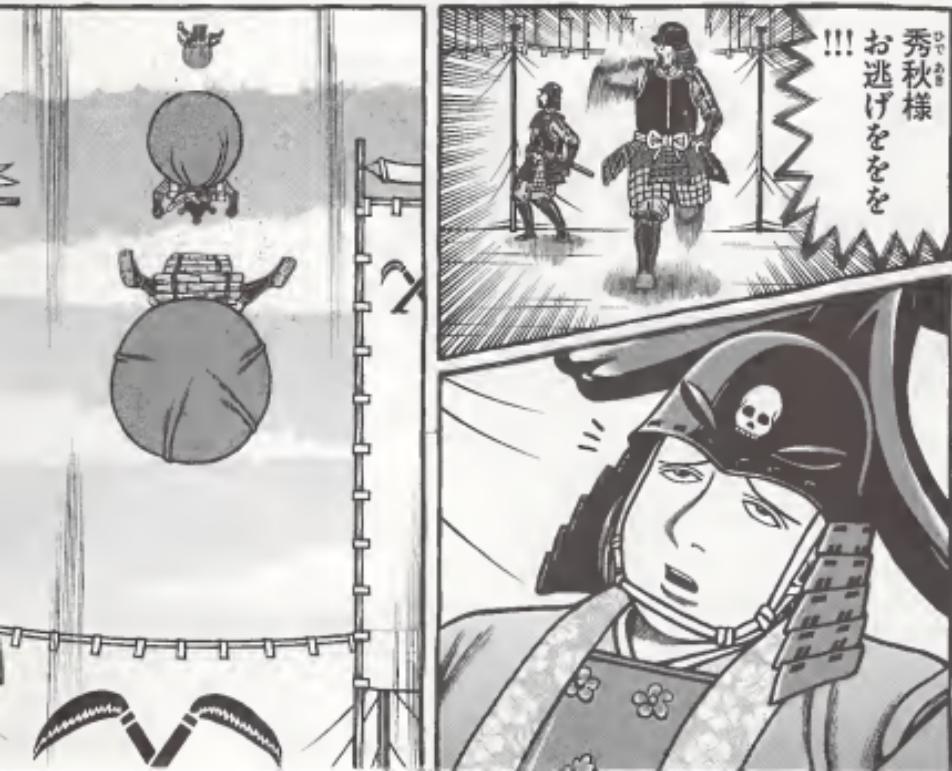
極めて安全……
とは想うが 先に
申しておく!!

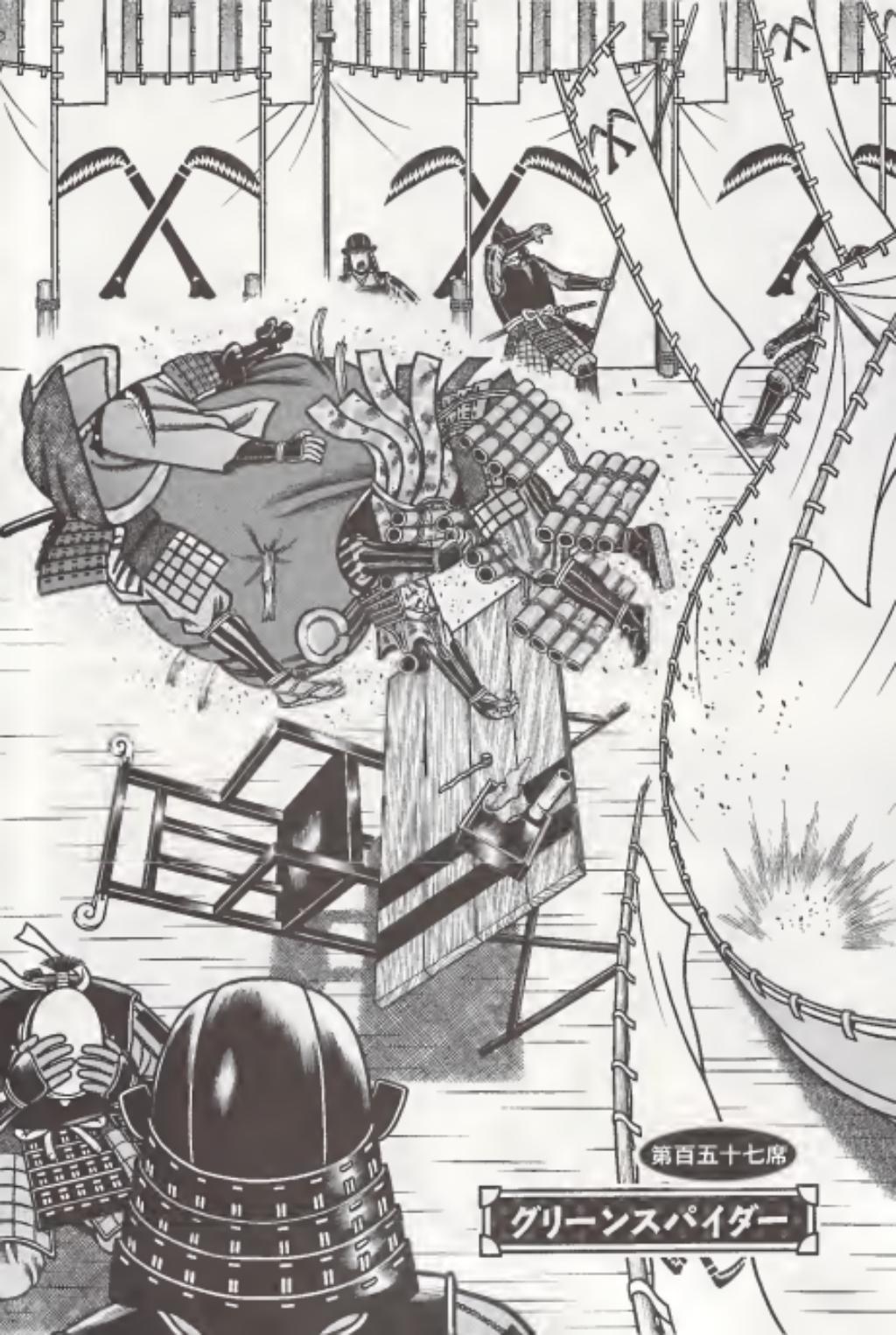
アデウス
アミーゴ！

頼みます
父上ええ!!!



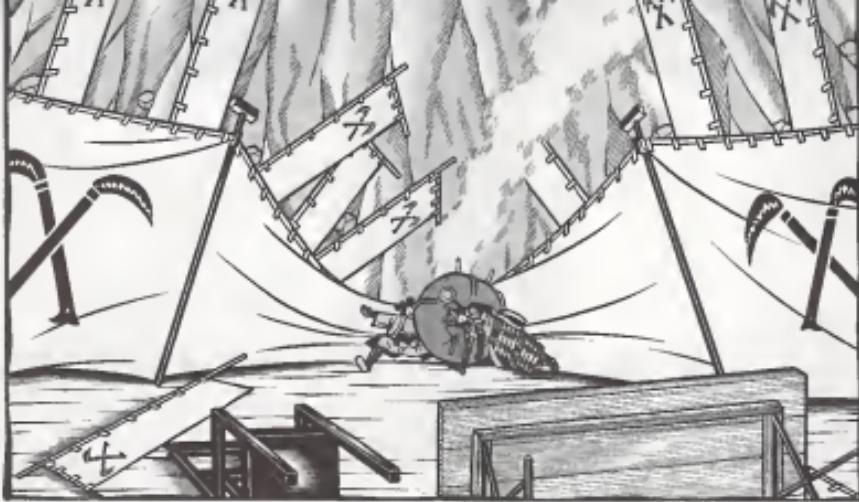
第一百五十六席 終





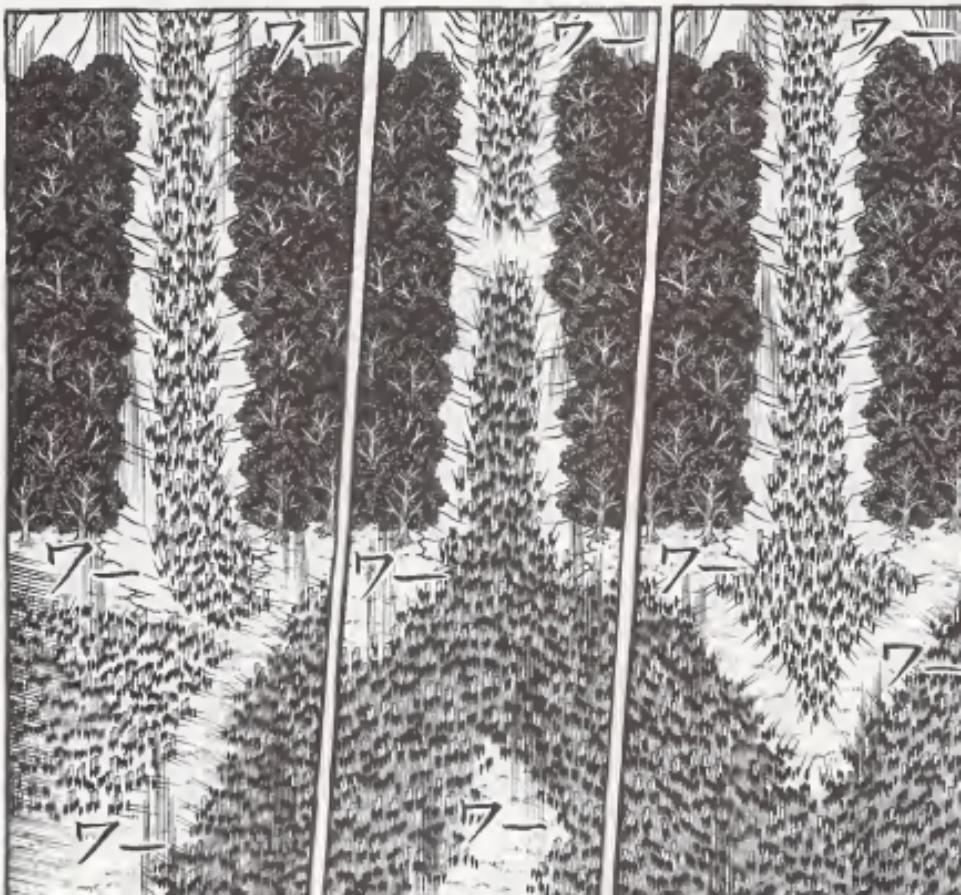
第百五十七席

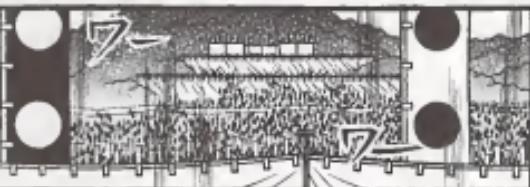
グリーンスパイダー













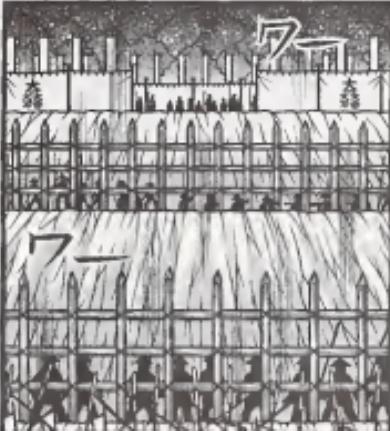


早う
この面白さに
気付け

さすれば
私の如き者を
再び味方に
付けられん

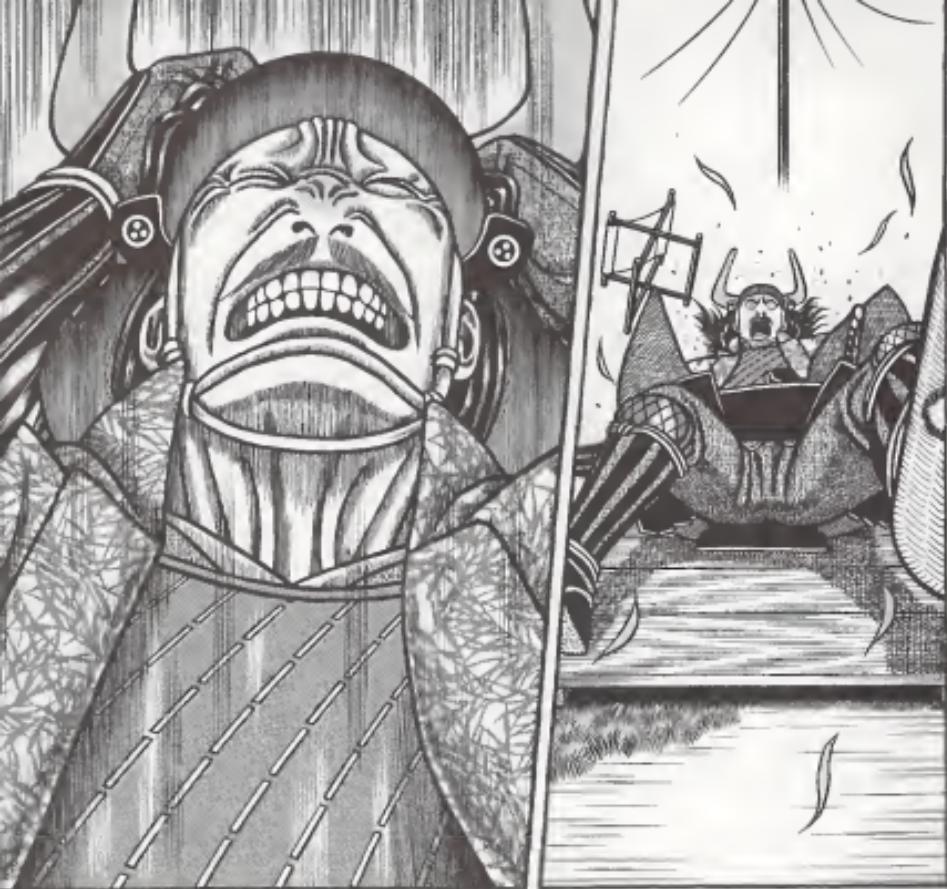












指揮をとれる
体ではない!!

だめだ!!

お気を確か
に殿オ!!

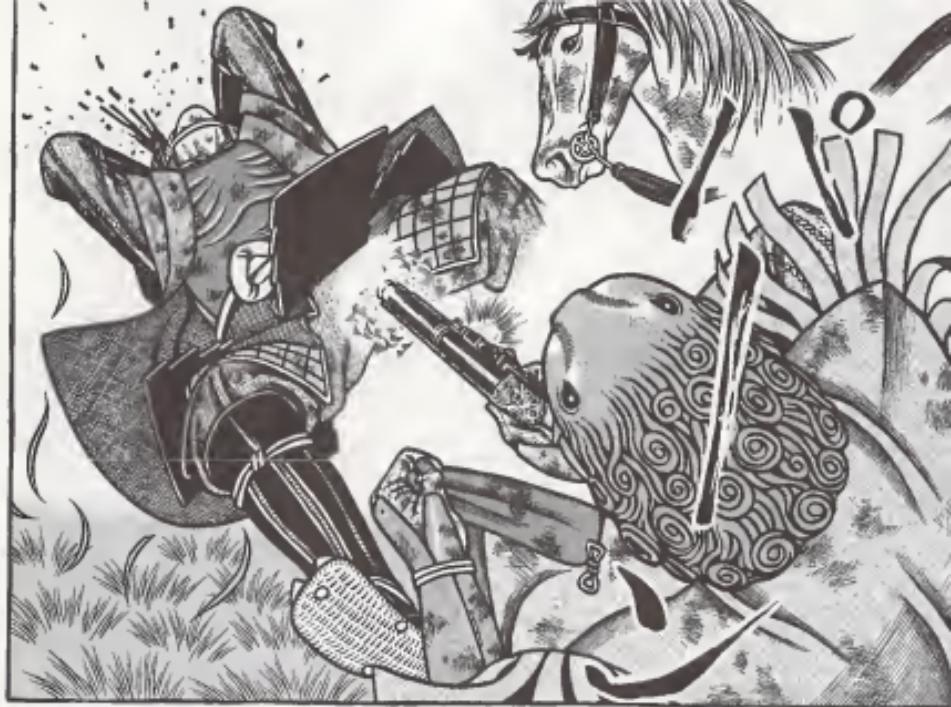
殿つ!!!

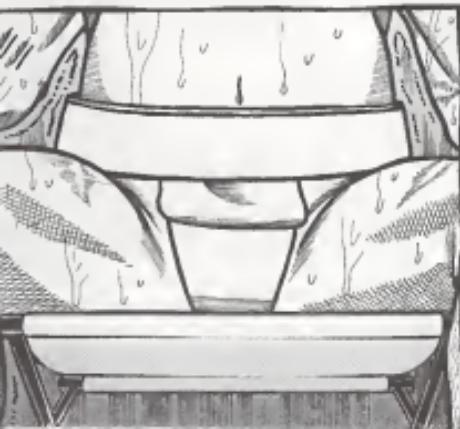
殿の身だけは
死守せねば!!

早う伊吹山
へ!!









き……
氣をやるで
ない……

大坂に至る
までは……

一切の決着が
つくまでは
!!!!



島津が
この本陣へ
!!!!

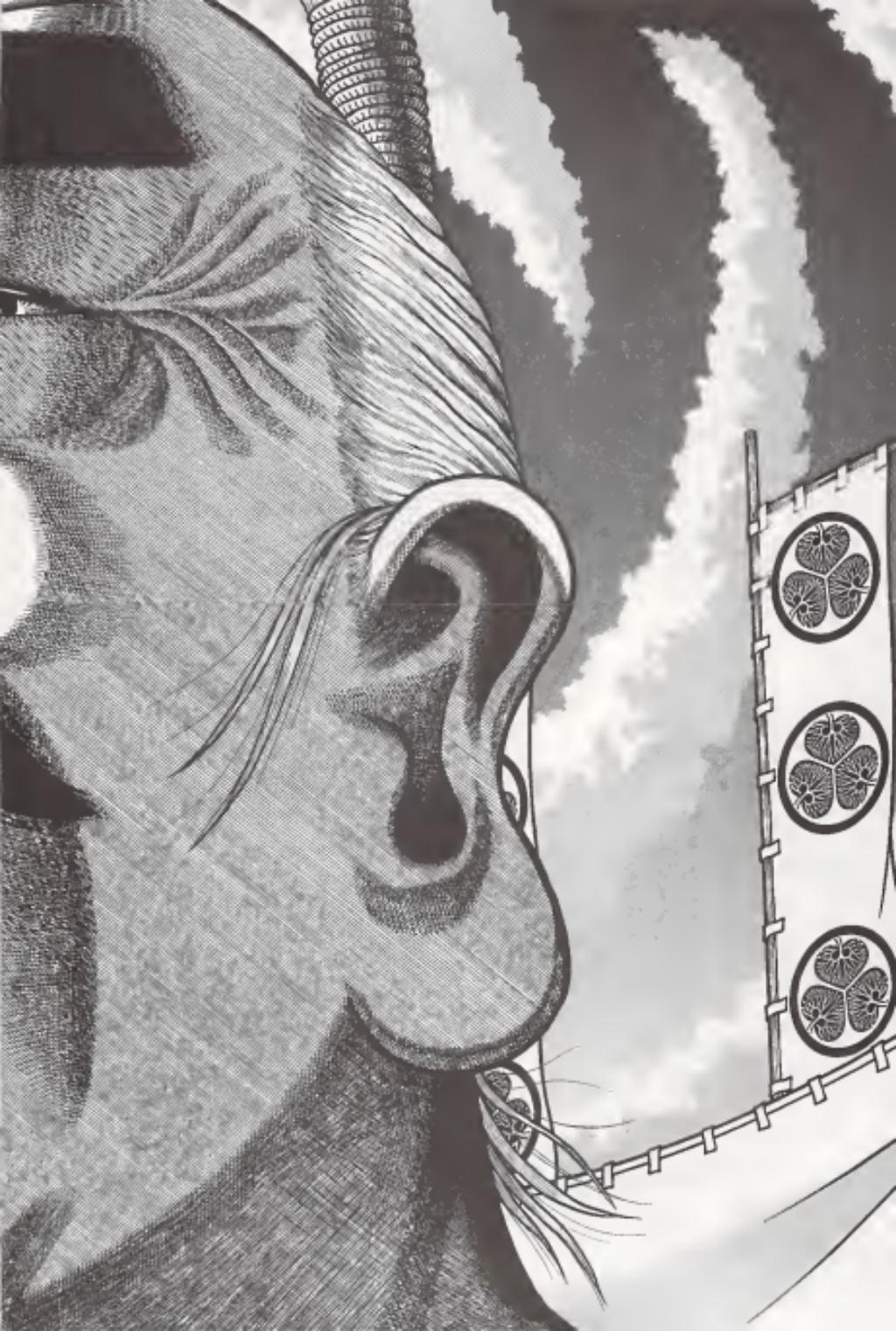
殿オ!!!







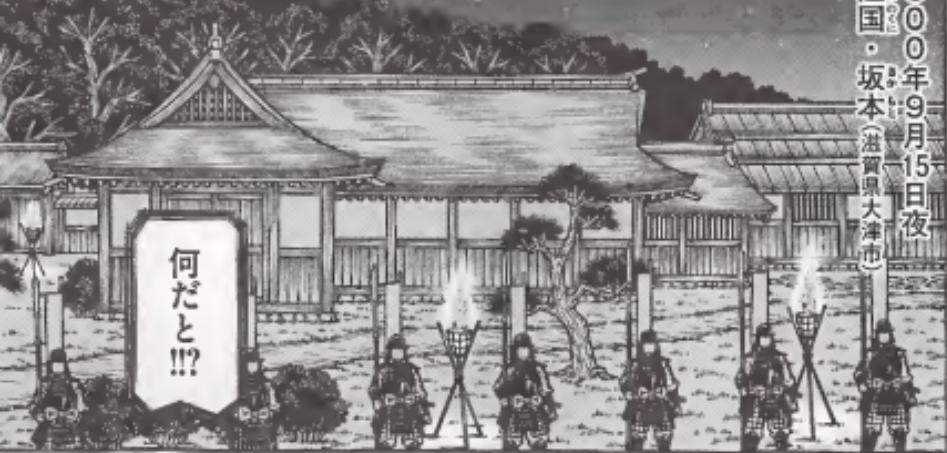








1600年9月15日夜
近江国・坂本(滋賀県大津市)



殿は東軍の前田利長
と和睦を決めた
ゆえ……

我らが小松城へ
の援軍は要らぬ
……と

第一百五十八席

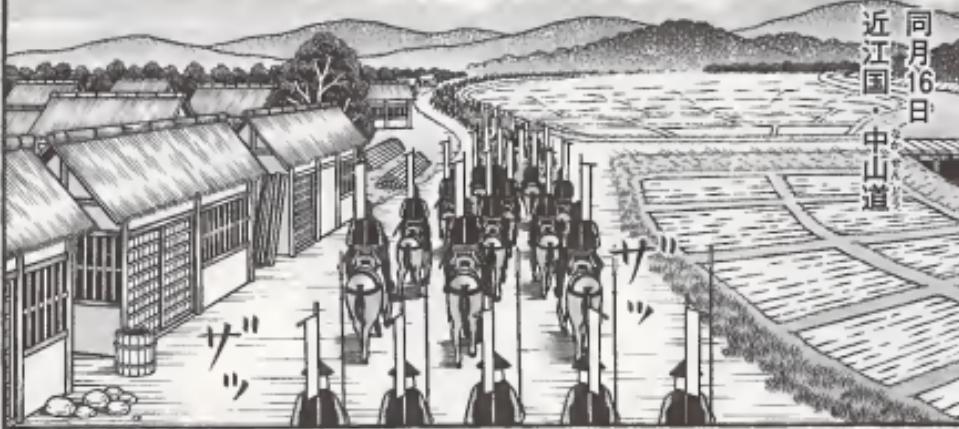
ぼくたちは失敗



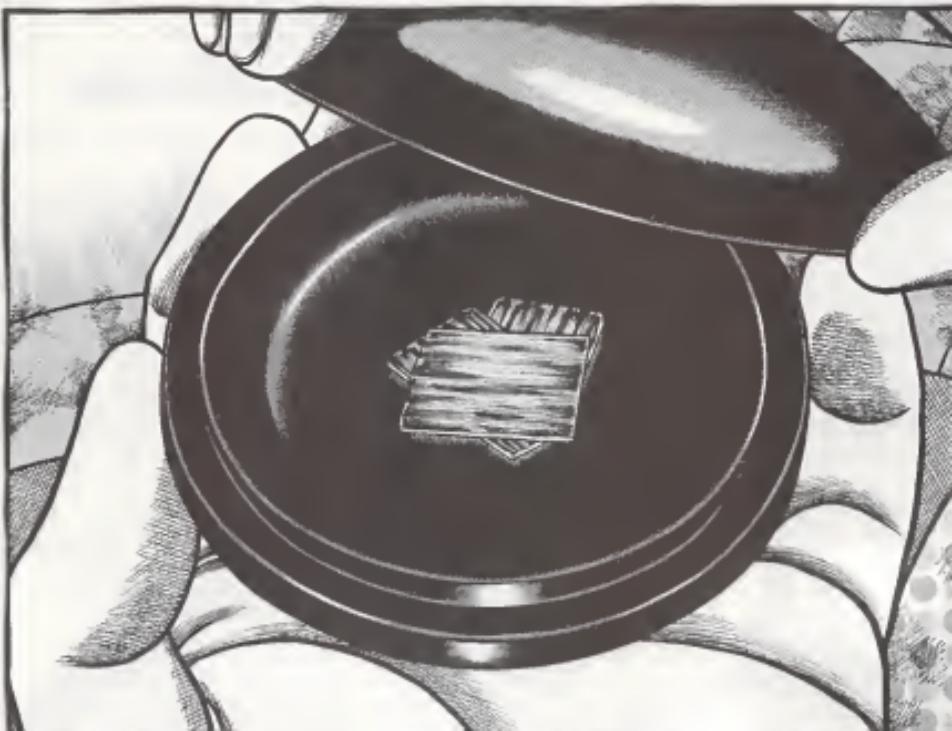


おれば……
宗匠の如く
乙将に徹して









……この香りは
香木「蘭香待」!!

信長が焚いておる
のを嗅いだ事が
あるぞ!!

太閤様より賜つた物を
秀秋様が持つて来た
のであるぞ……

身体を張つて
苦労した甲斐が
ござつた

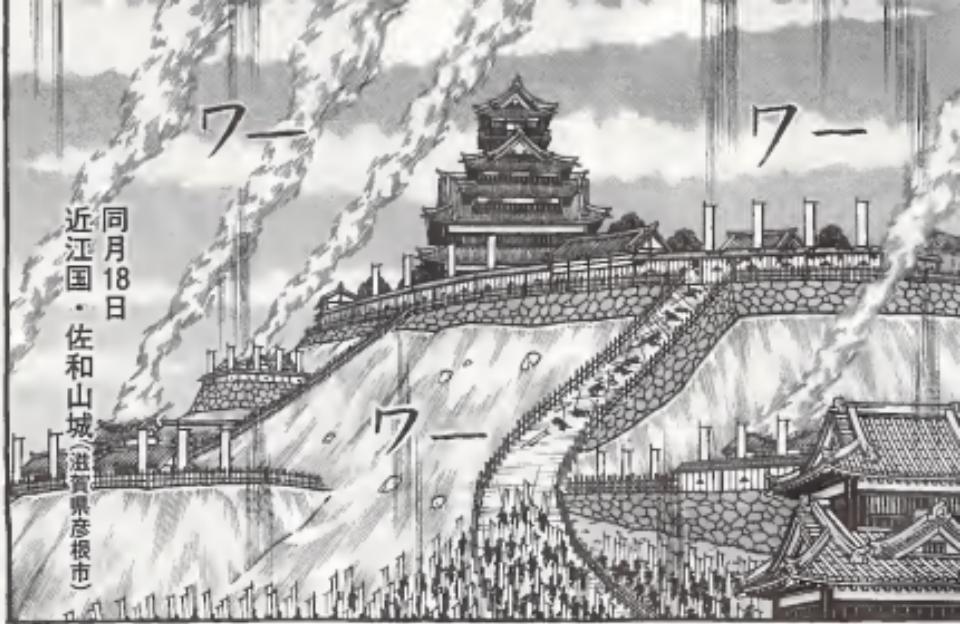
私とて数奇の
天下人……

名実伴うは
これからだが

俺が持つに
ふさわしうないか
……?

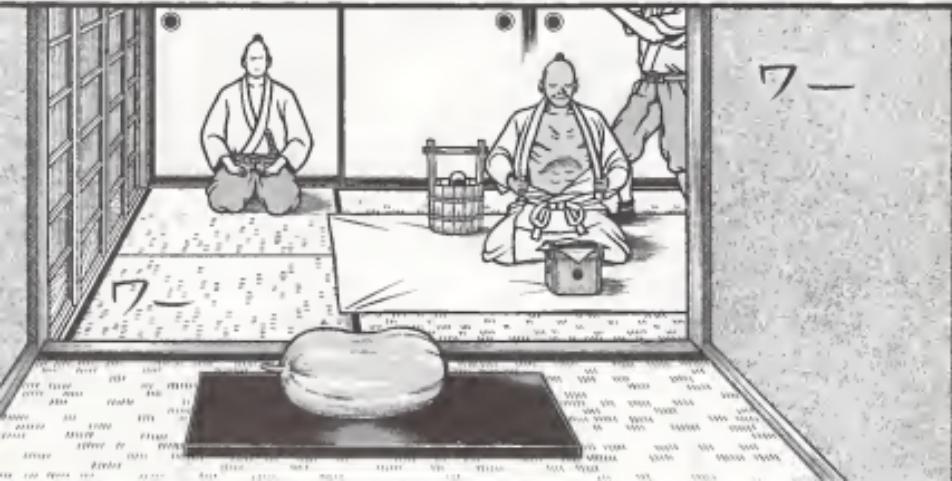
早う数奇に
現を抜かせる世に
ならぬかのう

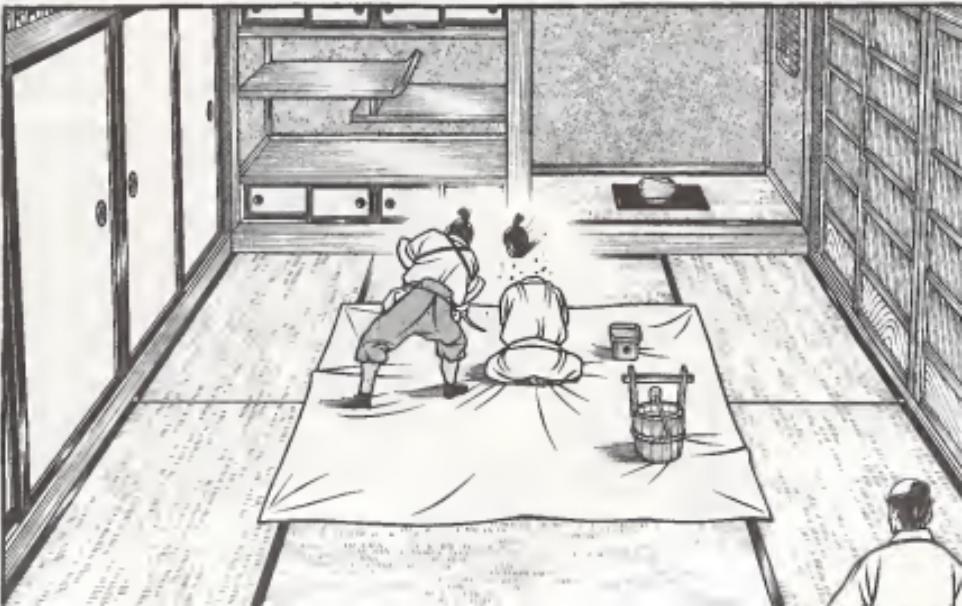
楽器の「貸し」を
返してもろうて
ないぞ古様















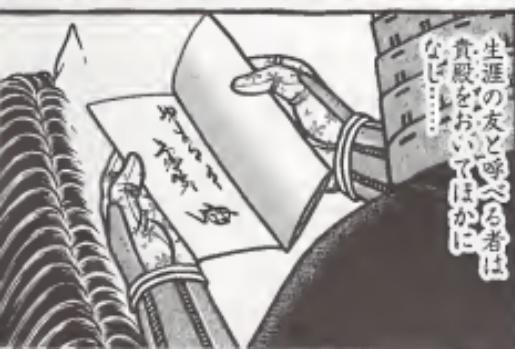








1600年9月19日
越前国・北陸道



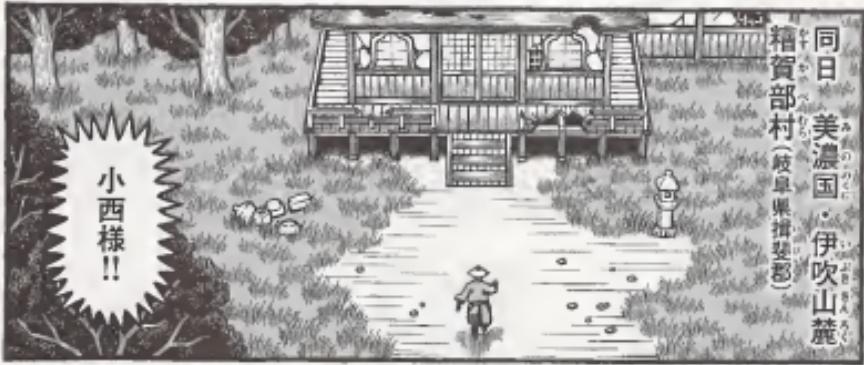
何卒私の許で
新しき国造りに
力を貸して頂きたく

自らの所在が
定まり次第
またお報せ致す

第百五十九席

H jungle with T

















それが
良くてな



左様な「わび」が
おわかりになる
なら……

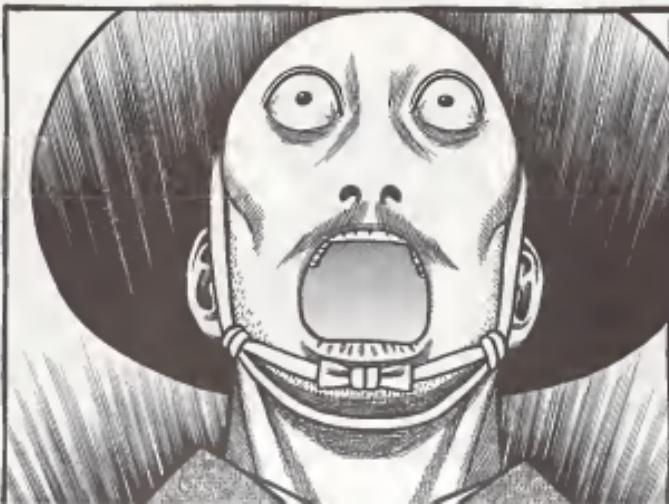
一安心致し
ました

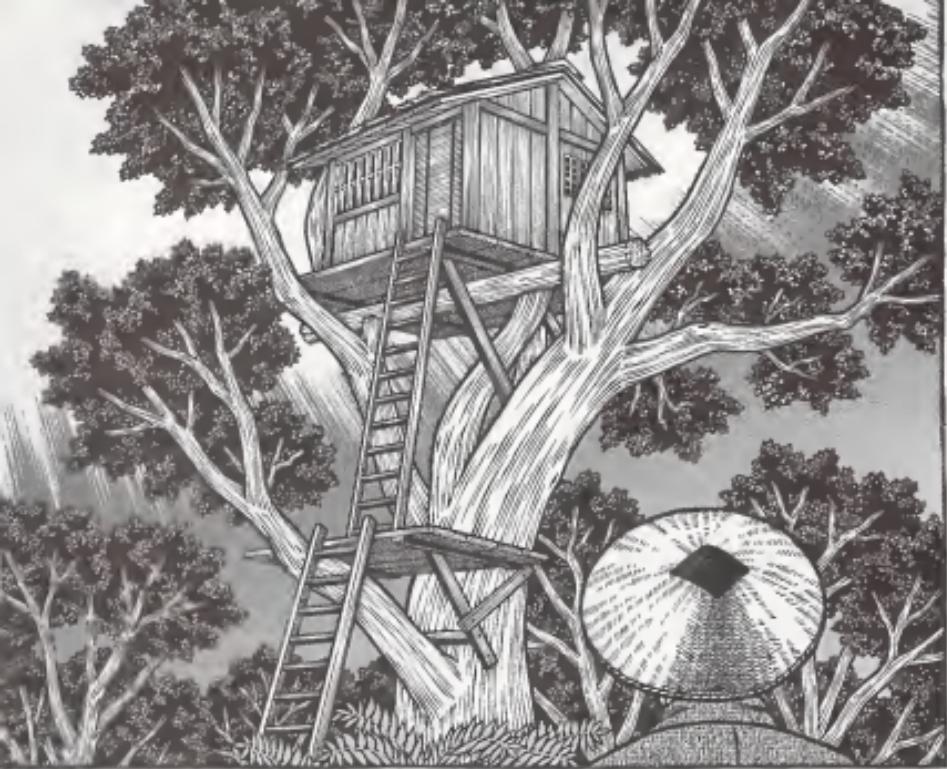


自慢の茶屋に
ござりますが



石田様程の御方
に失礼では
ないかと不安で













通報する事を
お許し下さい













1
6
0
0
年
9
月
21
日
近
江
国
・
大
津
城
(滋
賀
県
大
津
市)



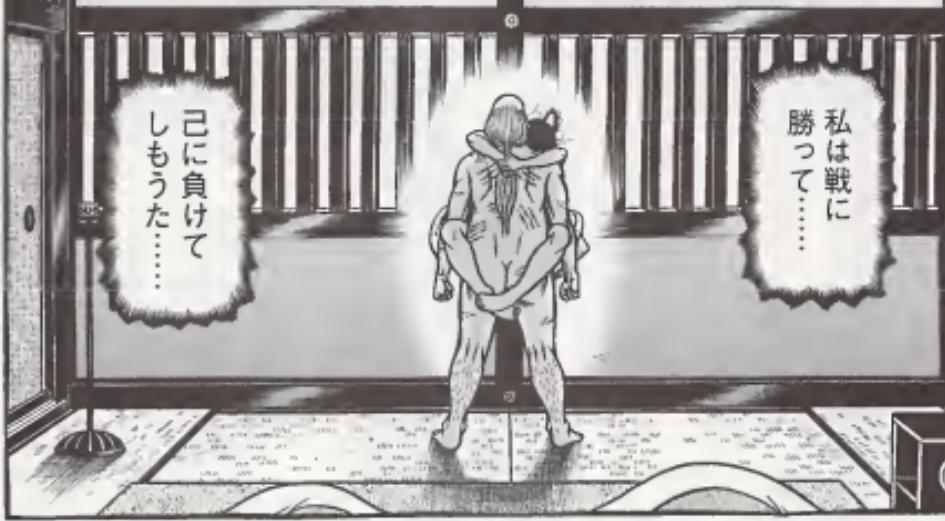


次の者を
呼んでくれ

第百六十席

星くずの記憶





カリ



家康様に事情を
話し 謝りたく
……

何卒
面会を



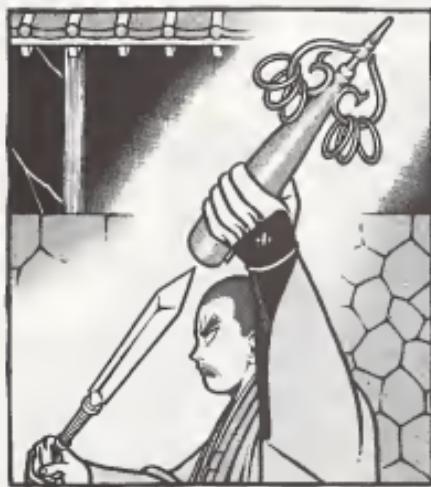
西軍に付きし
上田殿が 何用に
ござるか？

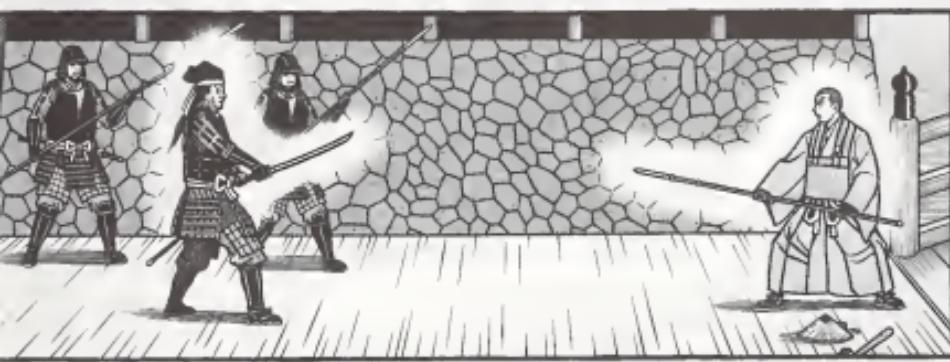
投降する気なら
速やかに縛に
就かれよ



ならぬ

しばらくは
面会謝絶との
御達しにて











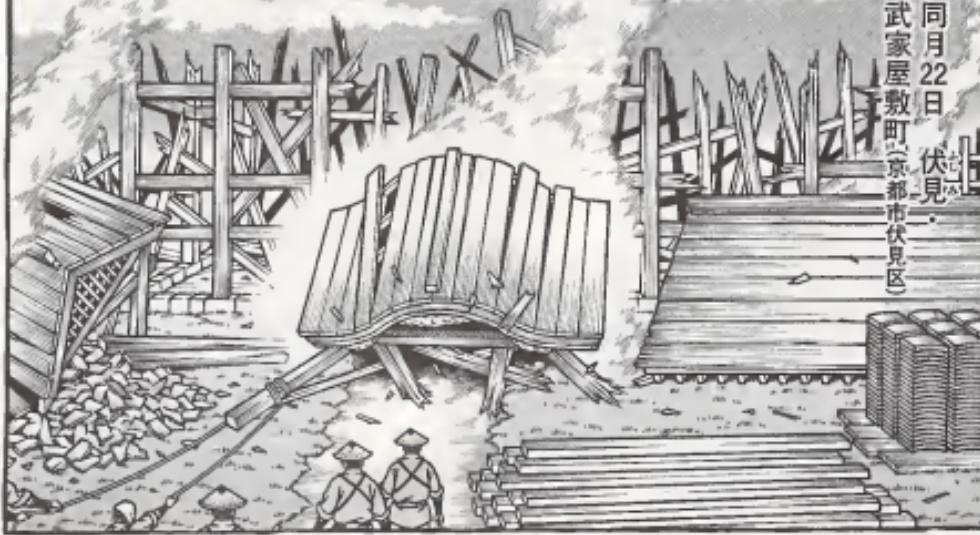
敵の動きがままに
変転し とどめを
刺さん!!

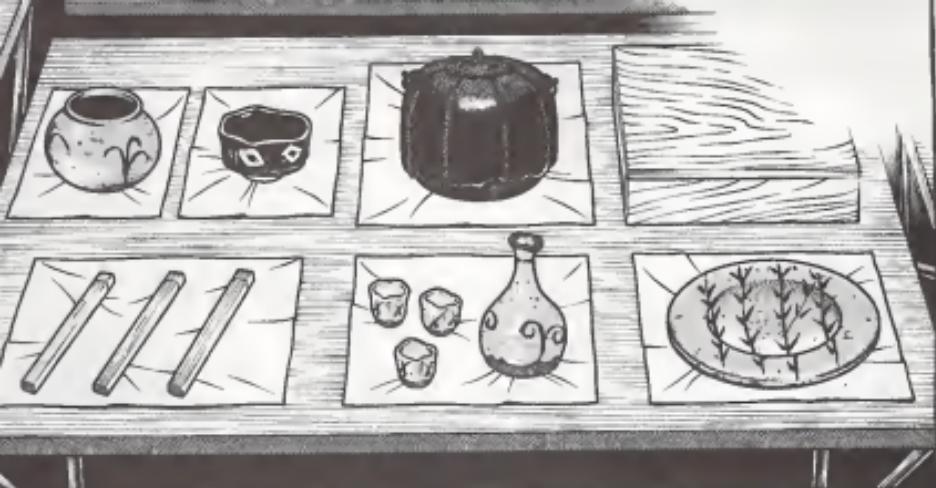






同月22日
武家屋敷町
(京都市伏見区)
伏見







同日 近江国・
古橋村(滋賀県長浜市)

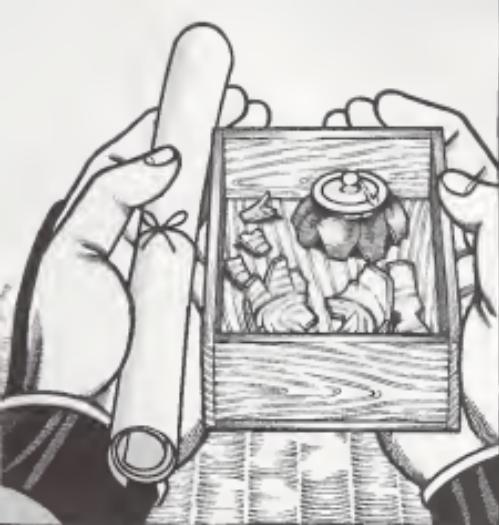
村に東軍・
田中吉政の手勢
が!!!!

殿……!!

おそらく勘平が
通報したものと
察します!!

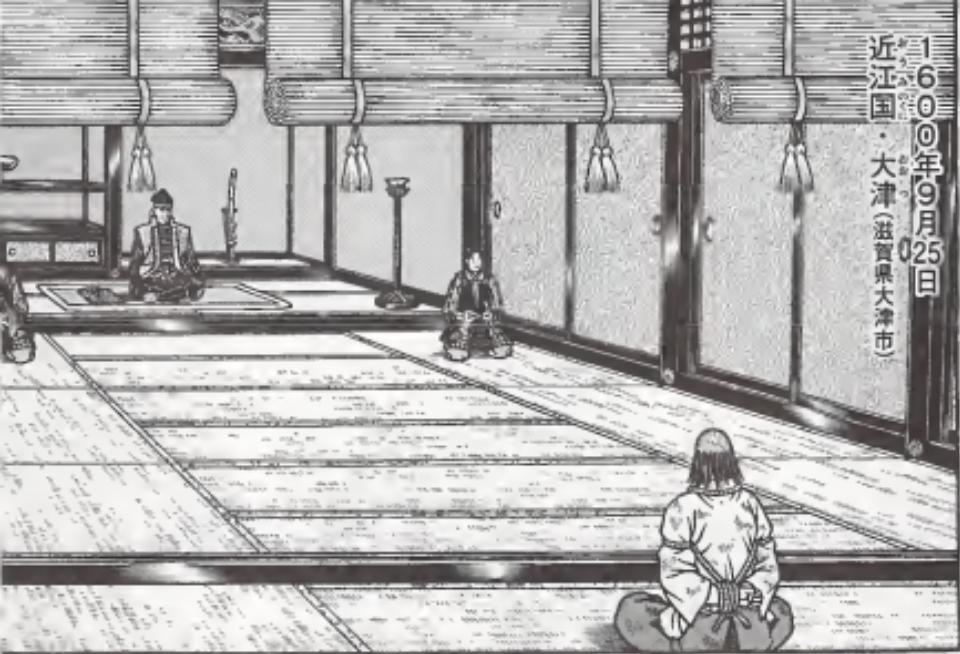
早う逃げねば
手勢がここへ
……!!

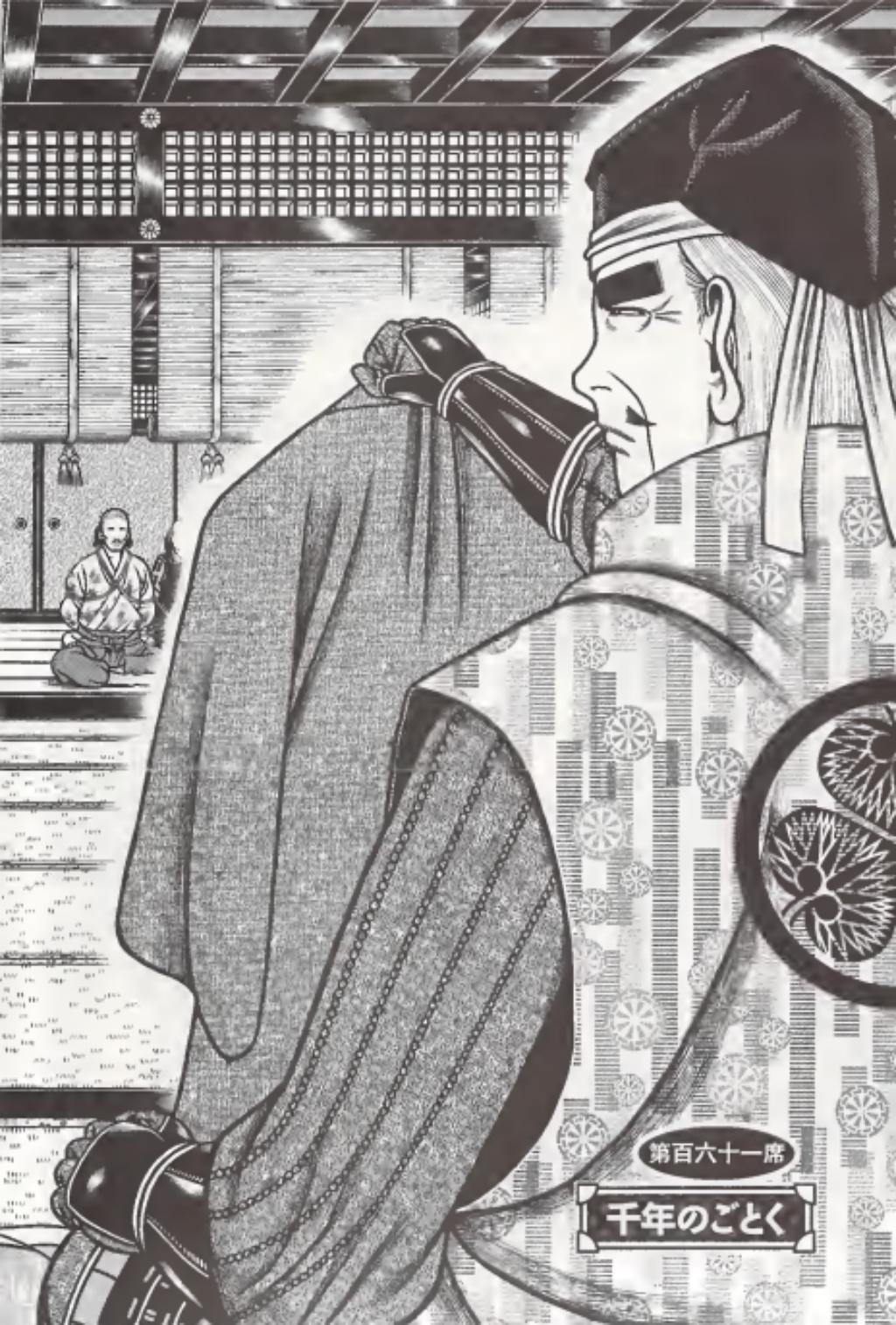






近江國・大津(滋賀県大津市)
1960年9月25日

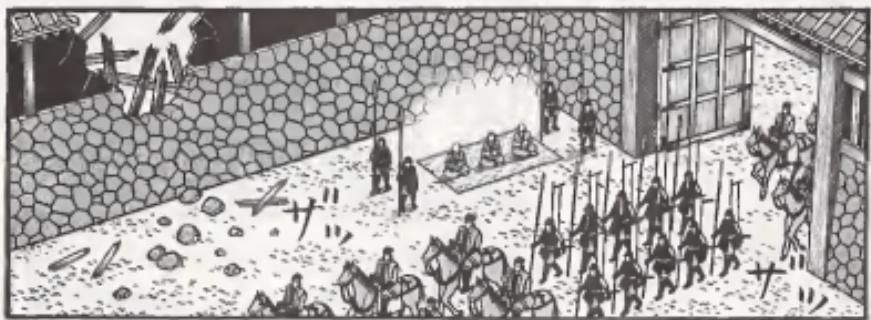




第百六十一席

千年のごとく



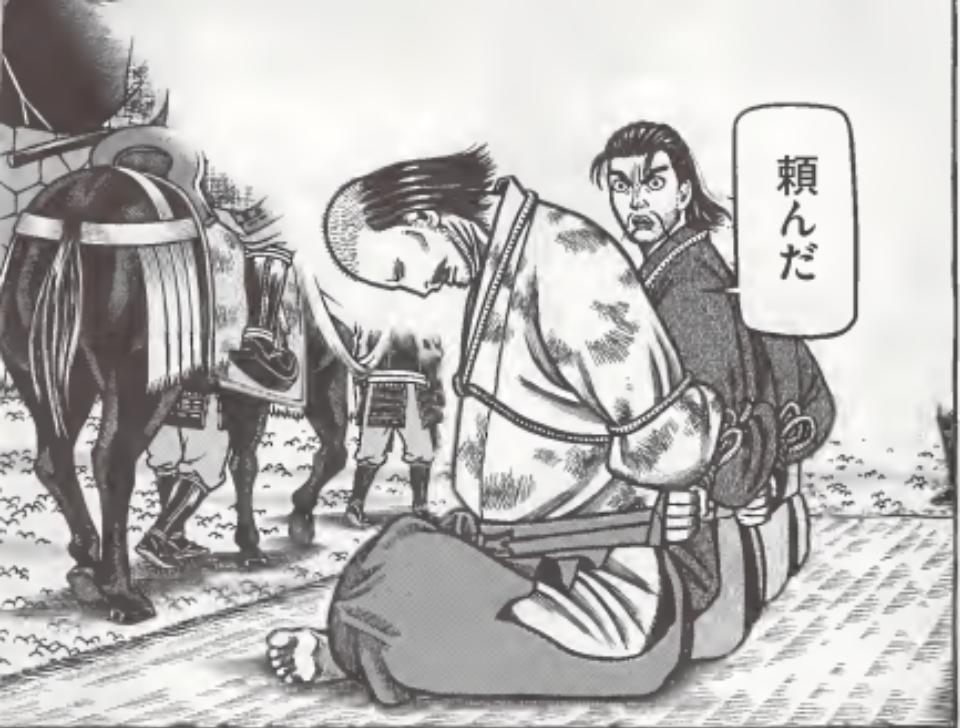




敗軍の将とて
その姿は見苦し
過ぎる

これでも
羽識れ













是が非でも
創るぞ 秀忠

千年も
揺るがぬ
徳川幕府を

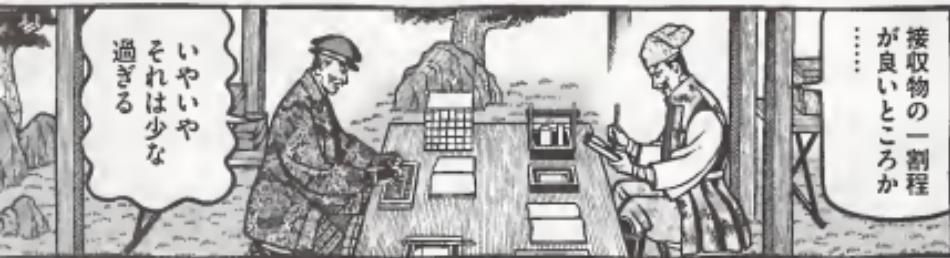










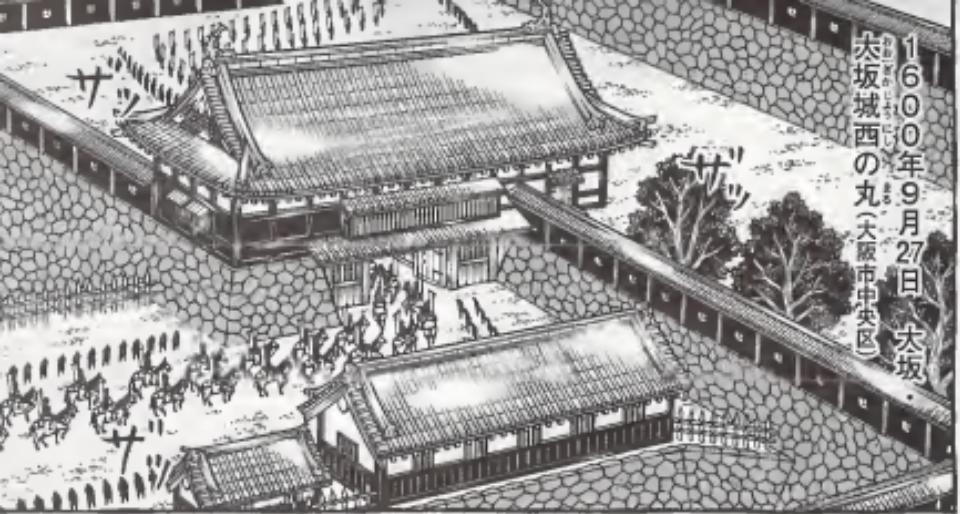








1600年9月27日 大坂
大坂城西の丸 (大阪市中央区)





第百六十二席

名物は買わない



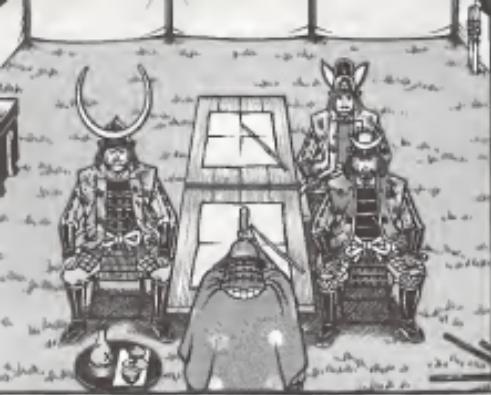








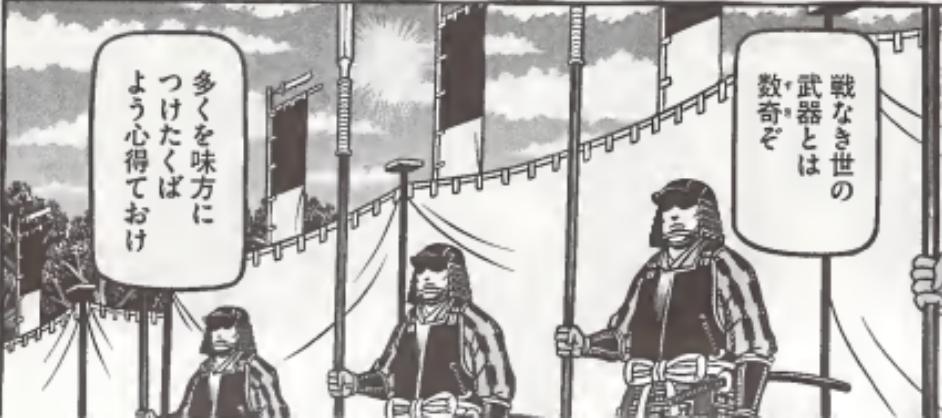




長政の連れて来た
朝鮮の陶工が
申しておつた

高取には
良い土がある
と

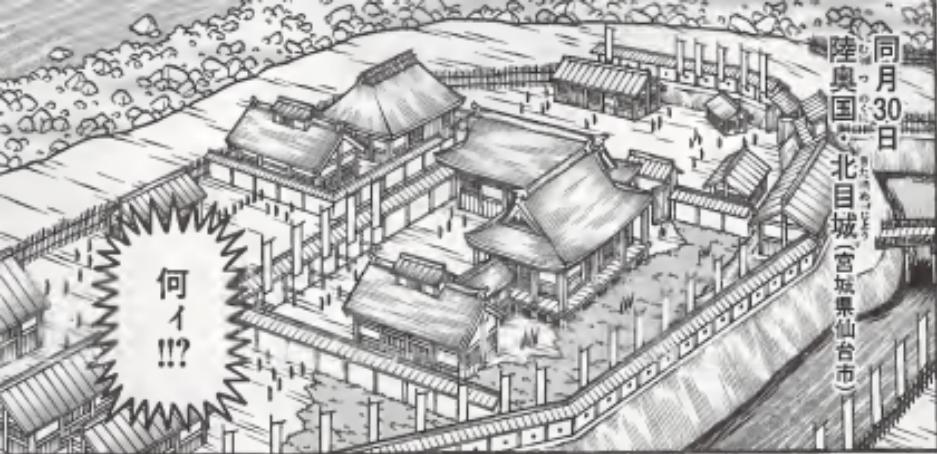
是が非でも
彼の地を領し
我らが良器にて
財を成さん



同月
30日

陸奥国
北目城
(宮城県仙台市)

何イ!!!









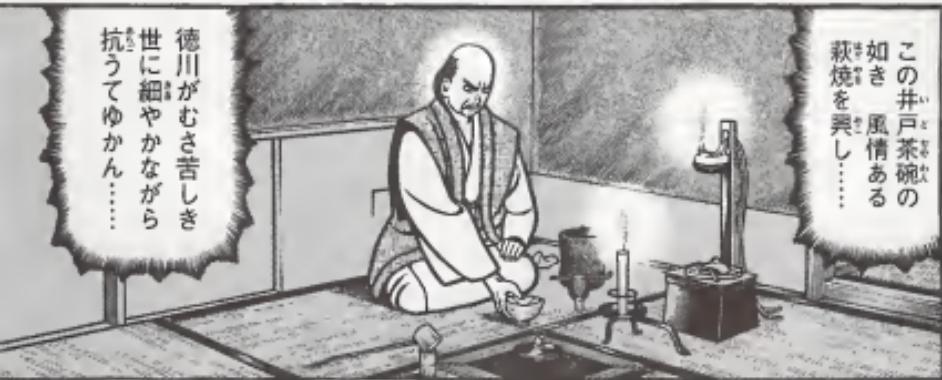
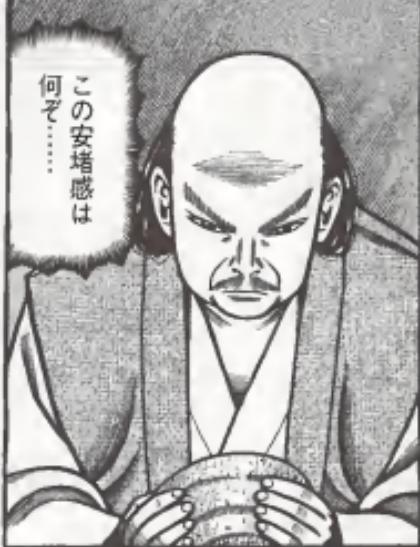
同日
大坂・木津
毛利輝元屋敷
大阪市浪速区

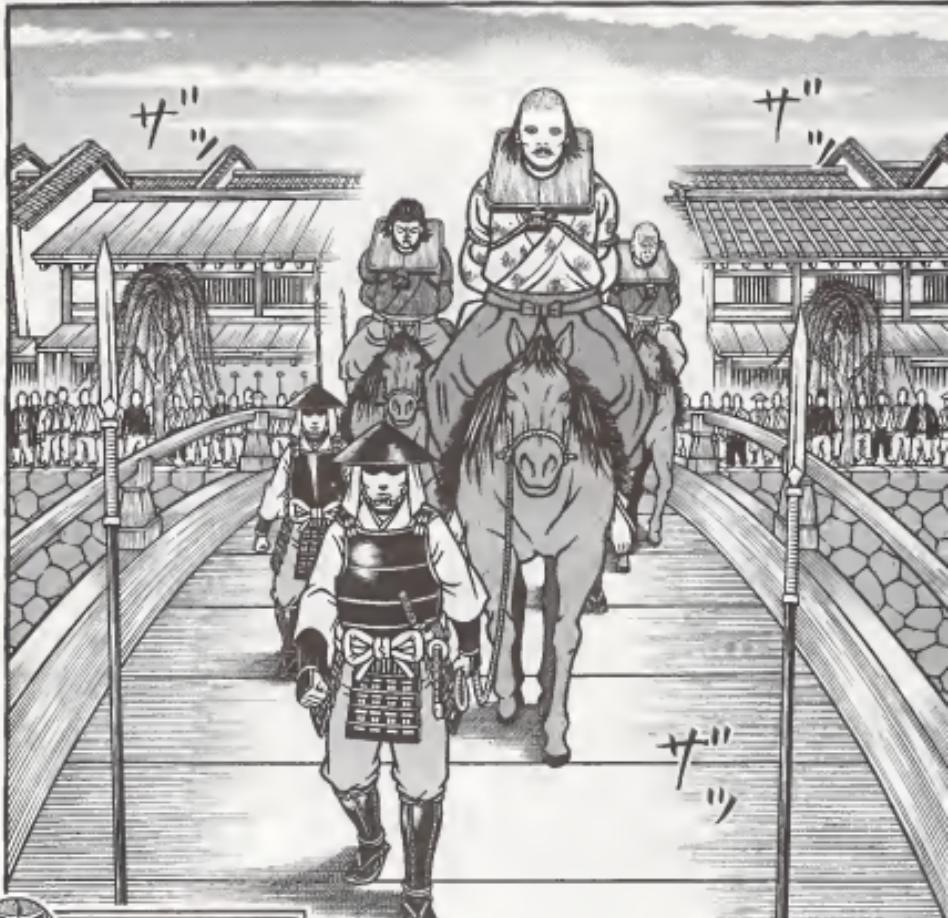












第百六十二席 終

1960年10月1日

古田重嗣役宅
(大阪市中央区)

大阪

ズダッ

ズダッ

おおととの
大殿つ

自害した
にて
石田正澄の手下

佐和山城から
逃れる折に
正澄より預った
との事

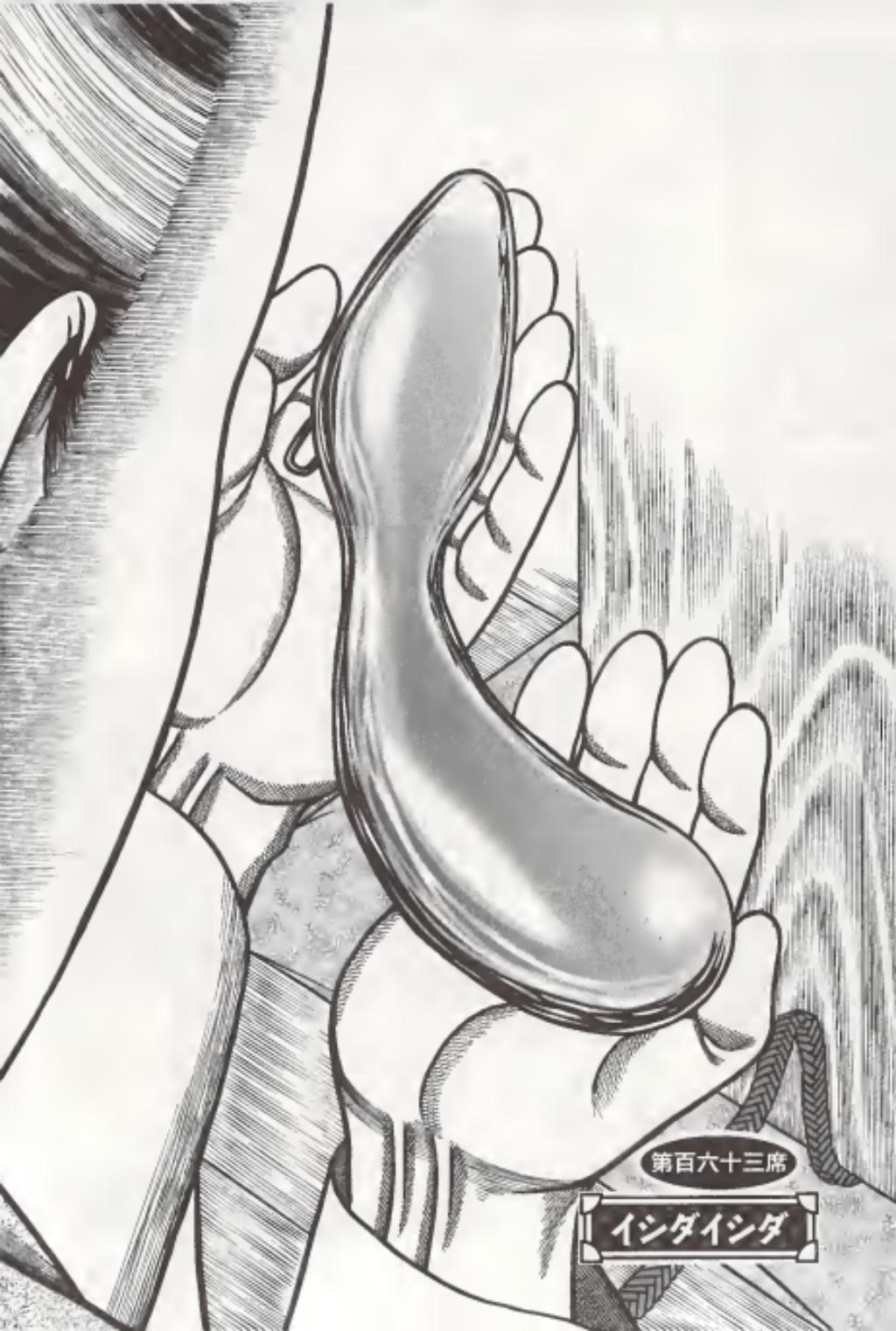
三成の兄が
何故私に……?

只今 大徳寺より
使者が参り……

一体誰からぞ

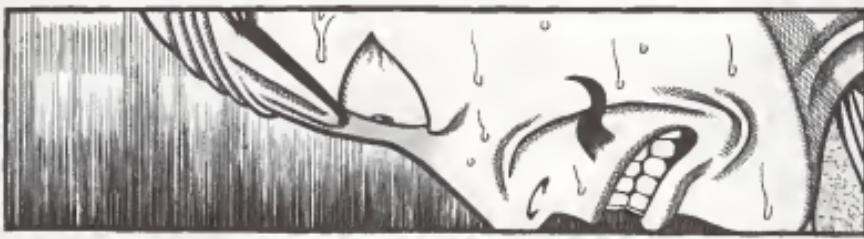
大殿にこれを
お渡してくれ
……と





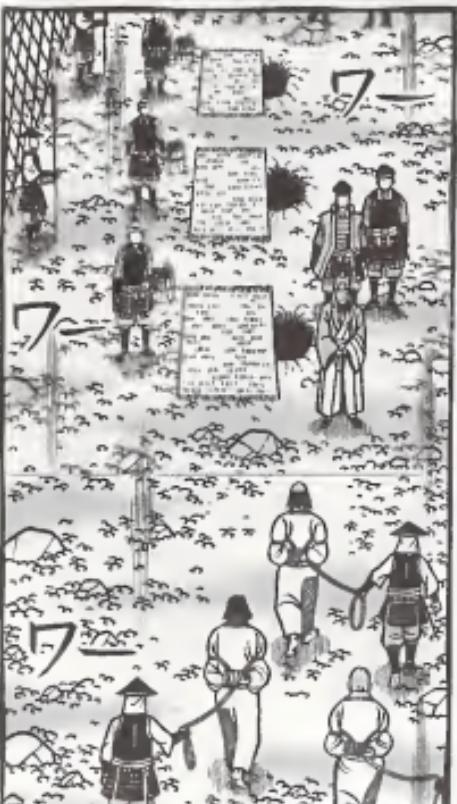
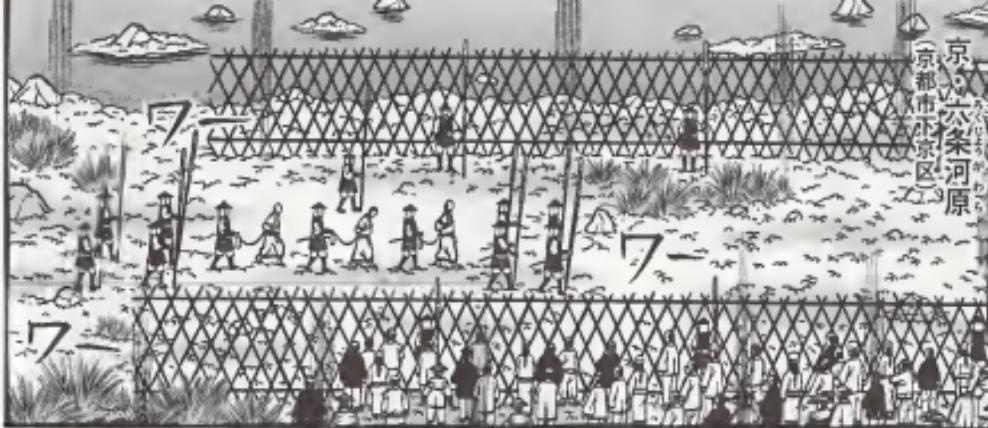
第一百六十三席

イシダイシダ

















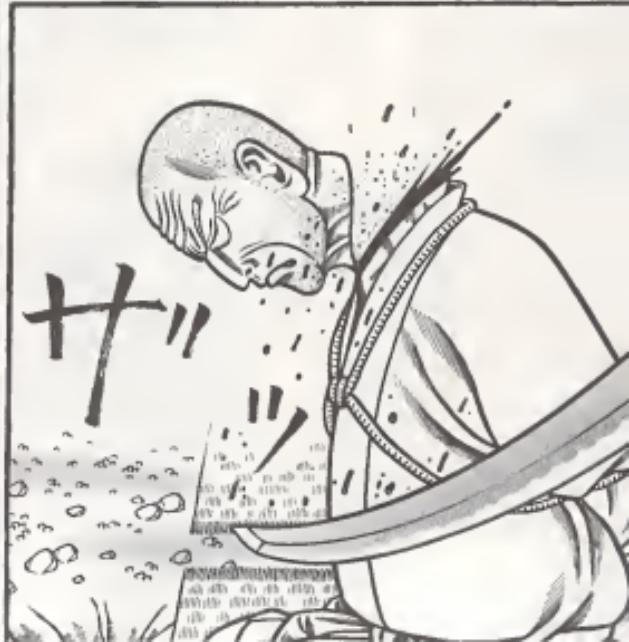
その方ら
徳川方に……

ひとつ忠告を
進せよう



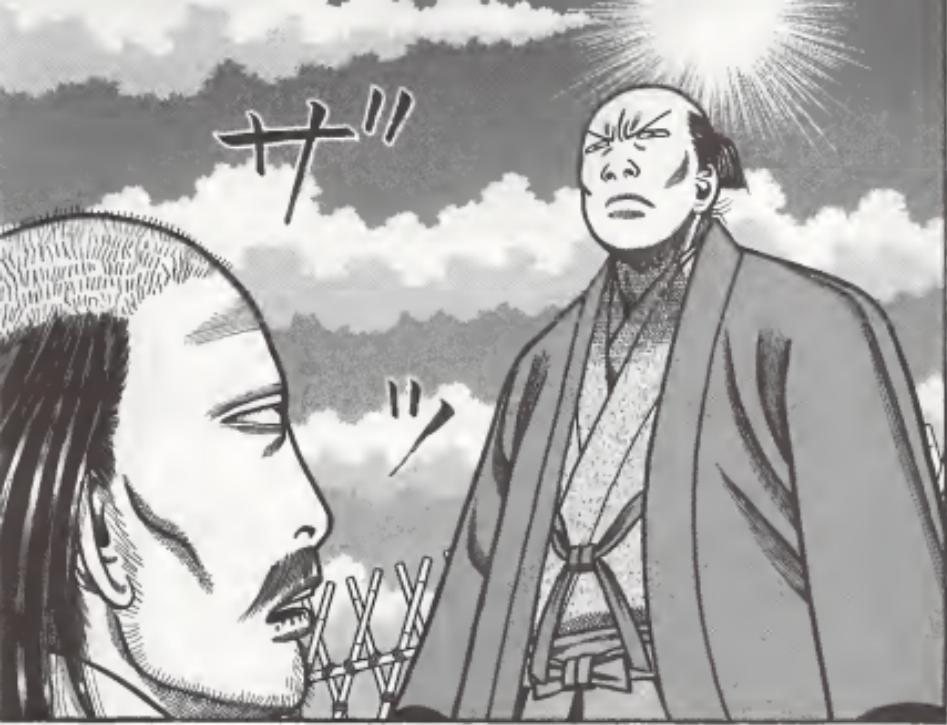


お城を攻かず效果







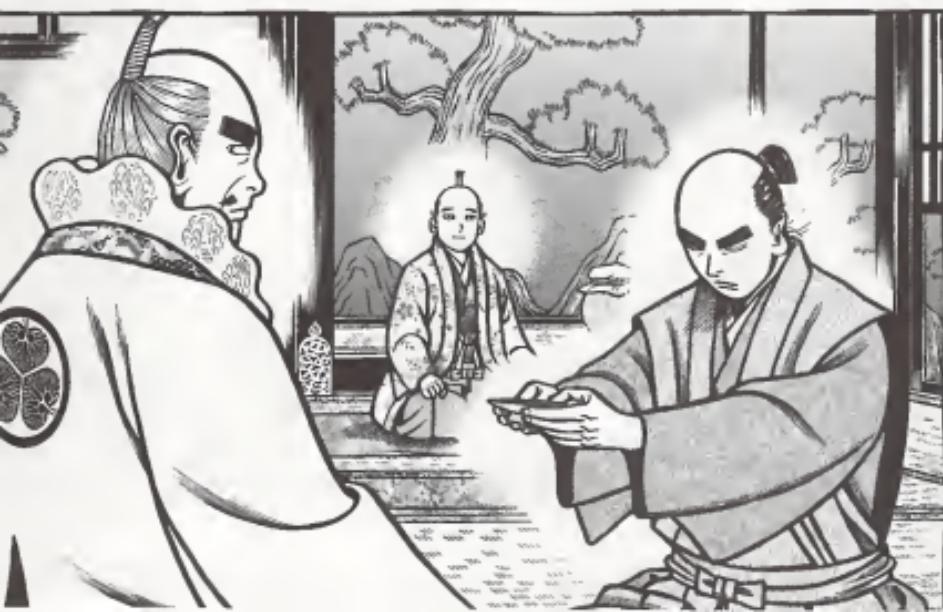
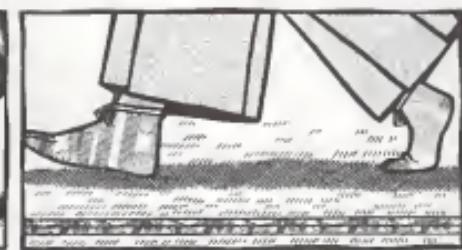


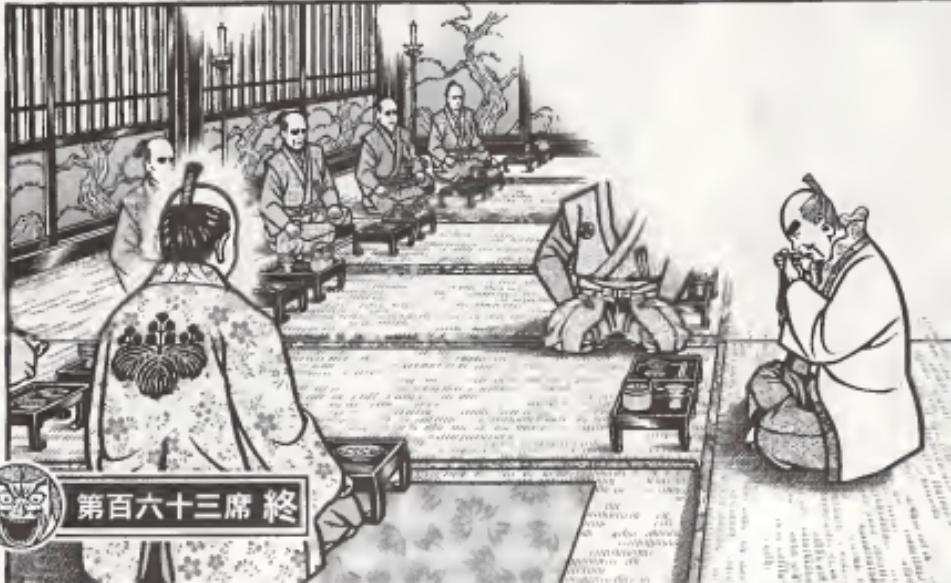




同年10月15日 大坂
大坂城本丸御殿(大阪市中央区)



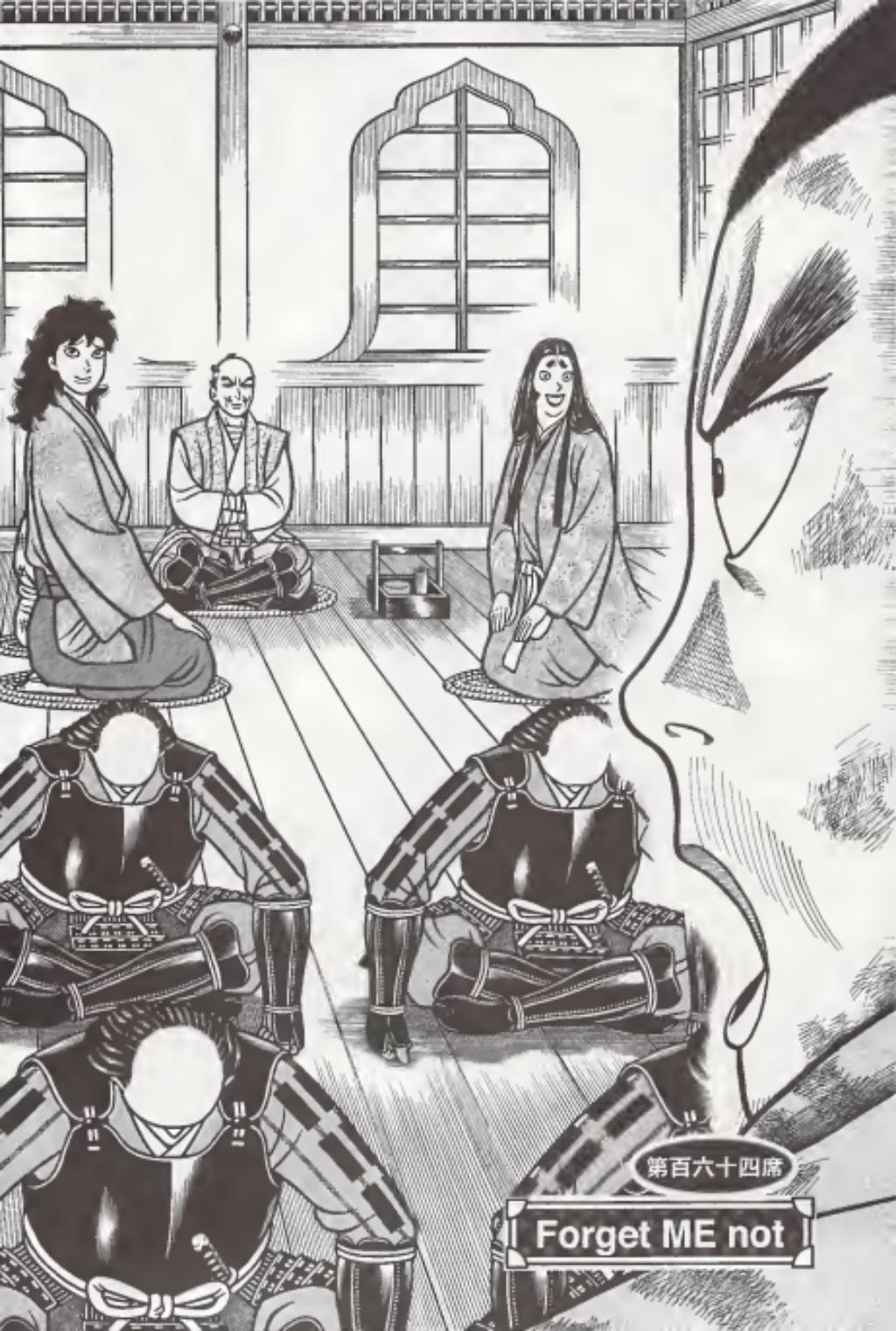




11-6-00年10月17日
杉原長房居城
豊岡城
兵庫県豊岡市
但馬国

こ……これは
上田様!!





第一百六十四席

Forget ME not











せ
.....

関ヶ原では
かような事が
あつたのか……!
?!



橋川景虎



おち

森

原



それは想い
出して
描き
直したものや

おもしろい絵を
ぎょうさん描い
たんやが 焼か
れてもうた……

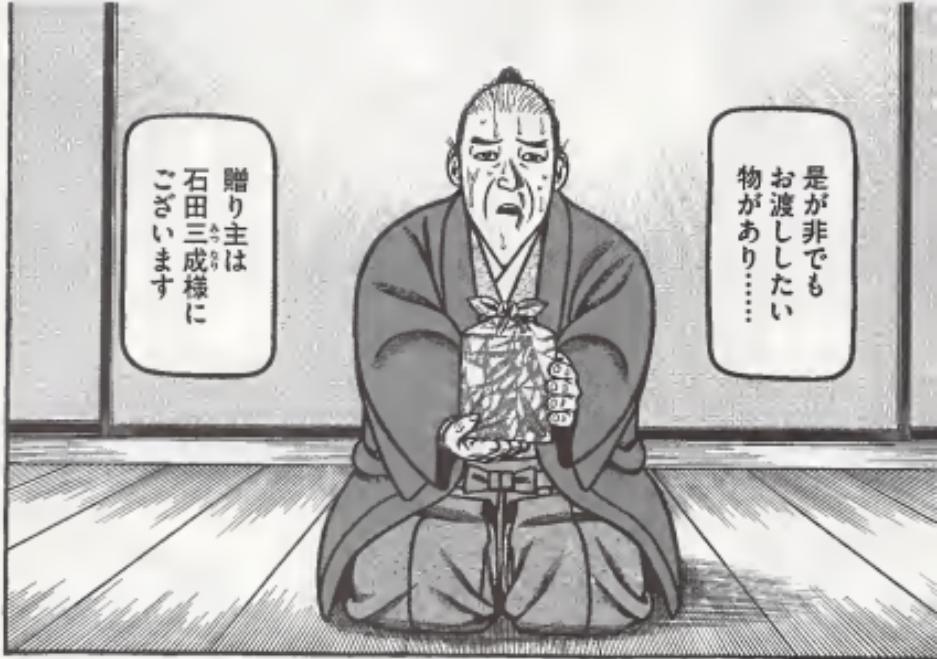
織部はんの新器
とて
例外やない
でえ

徳川はんの世に
なつたら……

おもしろいもんは
一切搔ねられる
やも











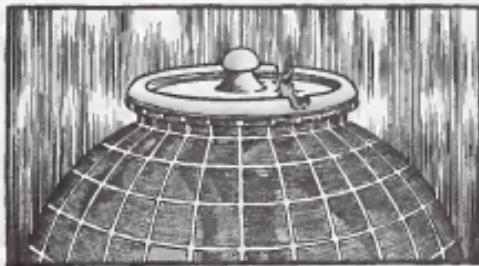






されどやらずに
おれぬのが
石田のう……

己をわかつて
あえてやり過ぎる事で
うまくひょうげおつた
!!





同年10月下旬

島津義弘居城
(鹿児島県鹿児島市)

上山城
薩摩國

すずらん年
ごわす

よか！

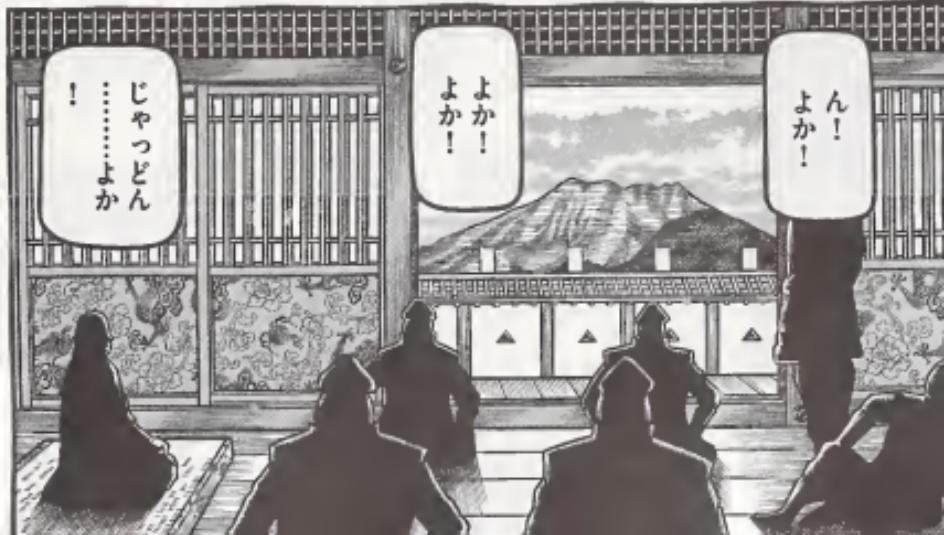
ん！
よか！

よか！

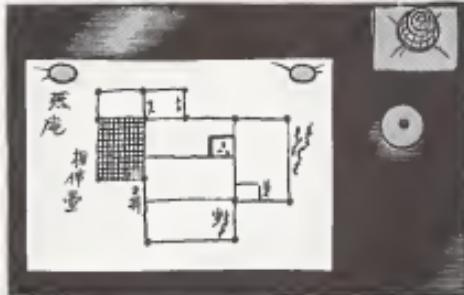
じゃつどん
義弘様……

よかね！



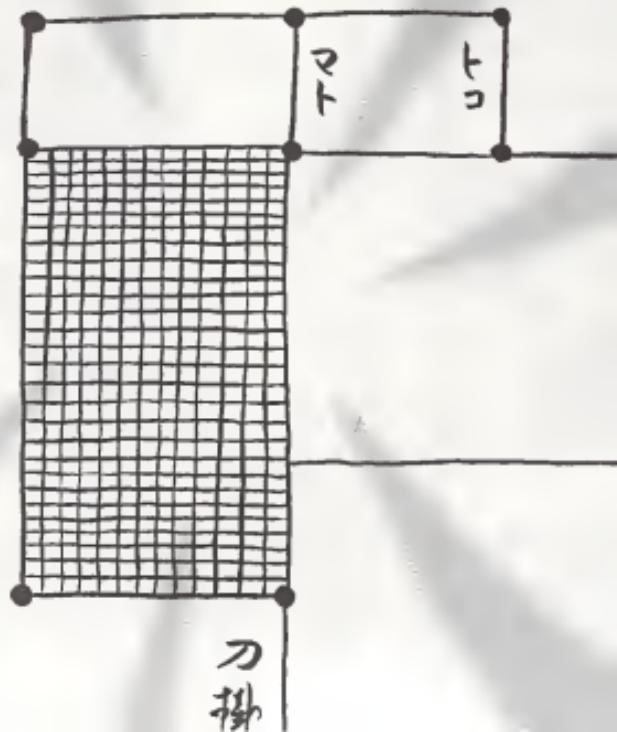






燕庵

相伴堂



第十五服 終

「へうげもの」第15冊は「モーニングKC」12年4・5合併号、7号、9号、11号、15号、17号、19号、21号、24号、26号、28号に掲載された作品を収録しました。

編集部では、この作品に対する皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

また、「モーニングKC」にまとめてほしい作品がありましたら、編集部までお知らせください。

（あて先）

〒112-8001 東京都文京区音羽2-12-21

講談社 モーニング編集部「モーニングKC」係

なお、お問い合わせいただいたお手紙・おハガキは、ご記入いただいた個人情報を含めて
著者にお渡しする所以ありますので、あらかじめご了承のうえ、お送りください。

★この作品はフィクションです。実在の人物、団体名等とは関係ありません。

モーニングKC-2128

へうげもの 15

2012年7月23日 第1刷発行（定価はカバーに表示しております。）

著者

やまと だいし ひろ
山田芳裕

©Yoshihiro Yamada 2012

発行者

清水保雅

発行所

株式会社 講談社

〒112-8001 東京都文京区音羽2-12-21

電話 編集部 東京(03)3945-9155

販売部 東京(03)5395-3608

業務部 東京(03)5395-3603

印刷所

大日本印刷株式会社

本文製版所

農田印刷株式会社

製本所

誠和製本株式会社

装丁

シマダヒデアキ(Local Support Department)

講談社

●本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することはたとえ個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。

●落丁本・乱丁本は購入書店名をご明記のうえ、小社業務部あてにお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。なお、この本についてのお問い合わせはモーニング編集部あてにお願いいたします。

茶々 Cha cha

Hyouge Mono 人物烈伝 其ノ八

永禄十二(1569)年、近江國小谷生まれ。実父浅井長政、伯父織田信長、継父柴田勝家と庇護者をことごとく失った数奇なマダムトヨトミ。夫秀吉にも死別、遺児秀頼と豊臣の灯を守れるかどうか。



Shigechika
Kanamori
金森重近

天正十二(1584)年生まれ。祖父長近、父可重より数奇武将の魂を受け継いだ駿馬。同世代の小堀作介とおすぎとビーコン的タッグを組み、織部リスペクターとして桃山の世をポップに生きるか。



徳川秀忠 Hidetada Tokugawa

天正七（1579）年、遠江国浜松生まれ。剛毅で無骨な性格、
數奇を解さぬ実質本意は父家康譲り。織部にもらった茶杓を
へし折ったシーンは象徴的。華々しい初陣を飾るハズの関ヶ
原に遅参も、家督継承は確定的か。

’13年新春、目出度く

へうげどモト 16

江戸時代 実入!!

発売予定にて候!!



cro-magnon × Hyouge Mono

7.25 wed. On Sale!

定価2千円（税込）

発売元：JAZZY SPORT

発売元：ラストラム

フライングゲット/AKB48 2011

Hyouge Mono

15.
KODANSHA



(モーニング公式サイト) <http://morningmanga.com>
(モーニング公式ブログ) <http://hyouge.exblog.jp/>
(モーニング公式Twitter) [@hyougemono](http://hyougemono)
(モーニング公式Facebook) [@2128](http://facebook.com/2128) / Hyouge Mono

2128

HYOUGEMONO SINCE 2005
MORNING KC